

3. 教育総務課

(1) 令和7年度 学校教育基本方針

■ 『学校教育スローガン』

生き抜く力と創造力、知的好奇心溢れる心豊かなひとづくり

おかや子育て憲章及び岡谷市教育大綱に掲げる教育理念のもと、子どもたちの有用感に満たされた幸せの実現に向け、一人ひとりの人権、人格、個性を尊重しながら、個々の能力、適性に応じた教育を実践し、魅力と活力ある学校づくりを推進します。

子どもたちが未来を切り拓くために必要な思考力・判断力・表現力など、基礎となる資質と能力の育成を図り、自ら主体的に学び、人生をたくましく生き抜く力を養います。

■ 「学校教育 5つの重点」

1 未来を切り拓く確かな学力と成長の保障

- 基礎・基本の資質・能力を育む
- 世界に羽ばたくグローバル人材の育成
- 教育 DX 推進と学校 ICT の活用

2 「ふるさと学習」の推進と地域に開かれた学校づくり

- 「ふるさと学習」の推進
- 地域と共に歩む、開かれた学校づくり
- 人と学びをつなぐ教育環境の充実

3 自立と共生のインクルーシブ教育の充実

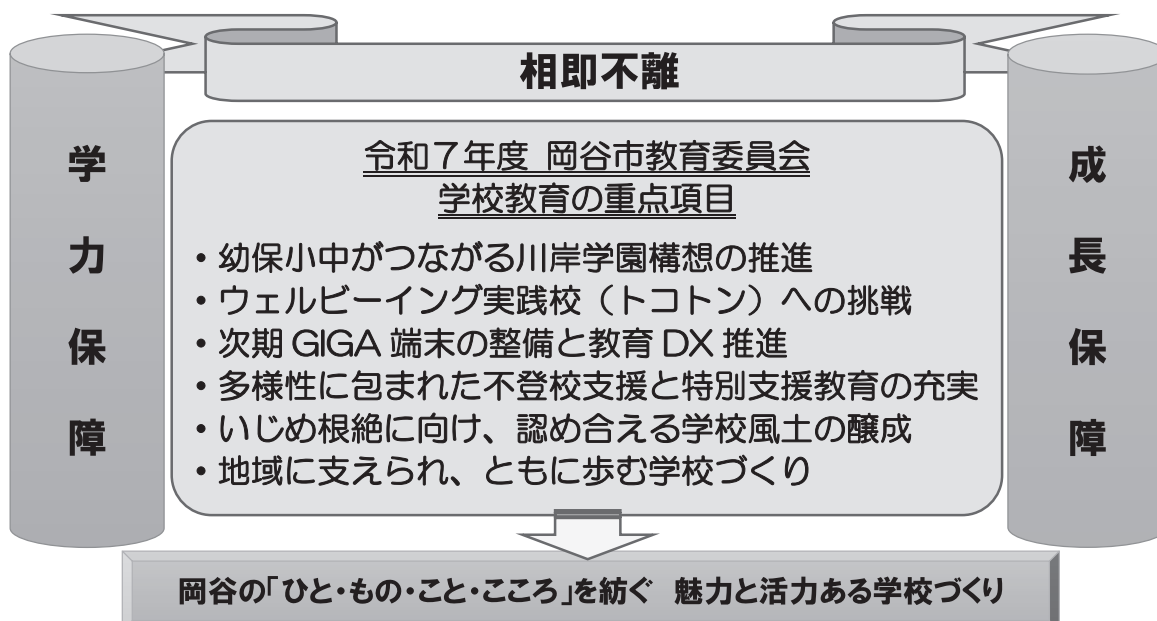
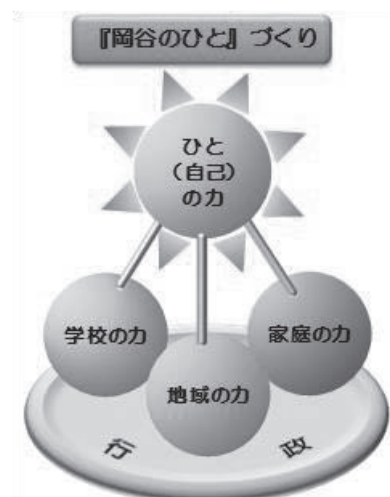
- 特別支援教育の充実
- 自立と共生、いのちを守る教育の推進
- 困難を抱える児童生徒、家庭への支援

4 多様性を包み込む、魅力と活力ある学校づくり

- いじめ・長期欠席への適切な対応
- 多様性を包み込む学校づくり
- 幼保小中、学校間の連携

5 笑顔で安心して学べる教育環境の整備

- 安全・安心の学校教育
- 学校施設・設備の充実
- 幼保小中併設による新たな学び舎の創出



(2) 市内小中学校等

① 市立小中学校

学 校 名	所 在 地	電 話 番 号	創立年月日	学校長氏名
川 岸 小 学 校	〒394-0047 岡谷市川岸中一丁目1番2号	TEL 22-2663 FAX 22-2653	明 7.1	濱 敦 志
神 明 小 学 校	〒394-0004 岡谷市神明町一丁目9番40号	TEL 22-2243 FAX 22-2159	昭 42.4.1	白 石 裕 順
小 井 川 小 学 校	〒394-0023 岡谷市東銀座一丁目1番4号	TEL 22-2234 FAX 22-2641	明 6.4	松 井 美 香
岡 谷 田 中 小 学 校	〒394-0031 岡谷市田中町三丁目5番17号	TEL 22-2425 FAX 22-2851	平 28.4.1	竹 内 良 之
湊 小 学 校	〒394-0044 岡谷市湊三丁目6番1号	TEL 22-2728 FAX 22-2529	明 6.4	藤 森 東
長 地 小 学 校	〒394-0086 岡谷市長地源一丁目1番3号	TEL 27-8792 FAX 27-8598	明 5.11	飯 嶋 政 泰
上 の 原 小 学 校	〒394-0089 岡谷市長地出早二丁目6番1号	TEL 28-1187 FAX 28-1742	昭 48.4.1	塩 澤 真 千 子
岡 谷 西 部 中 学 校	〒394-0047 岡谷市川岸中一丁目1番1号	TEL 22-3461 FAX 22-3409	昭 22.4.1	永 田 稔 憲
岡 谷 北 部 中 学 校	〒394-0002 岡谷市赤羽二丁目1番24号	TEL 22-3203 FAX 22-3197	昭 22.4.1	牛 山 高 彦
岡 谷 南 部 中 学 校	〒394-0044 岡谷市湊二丁目1番8号	TEL 22-3243 FAX 22-3241	昭 22.4.1	守 屋 守
岡 谷 東 部 中 学 校	〒394-0083 岡谷市長地柴宮一丁目9番13号	TEL 27-8644 FAX 27-8595	昭 22.4.8	濱 喜 一 郎

② 学校教職員数

(令和7年5月1日現在)

区 分 学 校 名		県 費											市 費											合 計	
		校 長	教 頭	教 諭		養 護 教 諭	養 護 助 教	栄 養 教 諭	講 師	事 務 員	ス クール サポート スタッフ	栄 養 職 員	小 計	事 務 員	ス クール サポート スタッフ	栄 養 職 員	給 食 調 理 員	図 書 館 司 書 員	業 務 員	特 別 支 援 教 育 支 援 員	心 の 教 室 相 談 員	校 内 教 育 支 援 セ ン ター 自 立 支 援 員	部 活 動 指 導 員		小 計
				男	女																				
小 学 校	川 岸 小	1	1	5	8	1			4	1	1		22	1		1	4	1	1	3				11	33
	(兼務者)				(2)				(2)				(4)												(4)
	神 明 小	1	1	7	10	1			5	1	1		27	1		1	4	1	1	4				12	39
	(兼務者)			(1)	(1)								(2)												(2)
	小 井 川 小	1	1	7	8	1		1	5	1	1	1	27				5	1	1	3				10	37
	(兼務者)			(1)					(2)				(3)												(3)
	岡谷田中小	1	1	7	11	1		1	2	1	1	1	27	1			5	1	1	4				12	39
	(兼務者)				(1)								(1)												(1)
	湊 小	1	1	2	6	1			2	1	1		15			1	3	1	1	1				7	22
	(兼務者)			(1)					(1)				(2)												(2)
	長 地 小	1	1	12	13	1			8	1	1		38	1		1	5	1	1	8		1		18	56
	(兼務者)								(3)				(3)												(3)
上 の 原 小	1	1	4	6	1			2	1	1		17			1	3	1	1	2				8	25	
(兼務者)								(2)				(2)												(2)	
	小 計	7	7	44	62	7	0	2	28	7	7	2	173	4	0	5	29	7	7	25	0	1	0	78	251
中 学 校	岡谷西部中	1	1	8	7	1			4	1	1		24			1	3	1	1	2	1	1	1	11	35
	(兼務者)			(2)									(2)												(2)
	岡谷北部中	1	1	11	6	1			3	1	1		25			1	4	1	1	3	1	1	6	18	43
	(兼務者)			(1)					(1)				(2)												(2)
	岡谷南部中	1	1	8	6	1			3	1	1		22			1	3	1	1	2	1	1	2	12	34
	(兼務者)			(1)					(1)				(2)												(2)
	岡谷東部中	1	1	11	10	1		1	4	1	1	1	32	1			6	1	1	5	1	1	2	18	50
	(兼務者)			(1)									(1)												(1)
	小 計	4	4	38	29	4	0	1	14	4	4	1	103	1	0	3	16	4	4	12	4	4	11	59	162
合 計		11	11	82	91	11	0	3	42	11	11	3	276	5	0	8	45	11	11	37	4	5	11	137	413

※()は兼務者で上段の本務者には含まれない

③ 児童・生徒数及び学級数

・小学校

(令和7年5月1日現在)

		川岸	神明	小井川	岡谷田中	湊	長地	上の原	計	1学級当たり児童数
1年	学級数	2	2	2	2	1	3	1	13	22.6
	男	22	27	20	34	4	32	12	151	
	女	19	20	19	24	5	43	13	143	
	計	41	47	39	58	9	75	25	294	
2年	学級数	2	2	2	2	1	3	1	13	21.2
	男	19	19	16	15	3	44	9	125	
	女	25	25	21	30	3	35	12	151	
	計	44	44	37	45	6	79	21	276	
3年	学級数	1	2	1	2	1	3	1	11	26.4
	男	19	30	19	28	5	37	10	148	
	女	13	22	16	27	10	41	13	142	
	計	32	52	35	55	15	78	23	290	
4年	学級数	2	2	2	2	1	3	1	13	24.0
	男	21	26	18	25	5	40	17	152	
	女	27	23	25	24	8	43	10	160	
	計	48	49	43	49	13	83	27	312	
5年	学級数	2	2	2	2	1	3	1	13	22.3
	男	21	16	22	24	12	37	11	143	
	女	24	23	17	31	6	36	10	147	
	計	45	39	39	55	18	73	21	290	
6年	学級数	2	2	2	2	1	2	1	12	26.6
	男	33	22	22	28	6	29	21	161	
	女	23	20	32	27	11	36	9	158	
	計	56	42	54	55	17	65	30	319	
特別支援	学級数	3	4	4	3	1	8	3	26	5.8
	男	16	23	14	17	3	41	9	123	
	女	3	4	5	2	1	10	4	29	
	計	19	27	19	19	4	51	13	152	
合計	学級数	14	16	15	15	7	25	9	101	19.1
	男	151	163	131	171	38	260	89	1,003	
	女	134	137	135	165	44	244	71	930	
	計	285	300	266	336	82	504	160	1,933	

・中学校

		西部	北部	南部	東部	計	1学級当たり生徒数
1年	学級数	2	3	2	4	11	28.1
	男	27	46	33	51	157	
	女	25	39	26	62	152	
	計	52	85	59	113	309	
2年	学級数	2	3	2	4	11	27.1
	男	16	34	30	59	139	
	女	25	38	25	71	159	
	計	41	72	55	130	298	
3年	学級数	2	3	3	4	12	28.3
	男	31	28	34	58	151	
	女	27	47	42	72	188	
	計	58	75	76	130	339	
特別支援	学級数	3	3	3	4	13	5.8
	男	10	12	9	22	53	
	女	6	7	3	6	22	
	計	16	19	12	28	75	
合計	学級数	9	12	10	16	47	21.7
	男	84	120	106	190	500	
	女	83	131	96	211	521	
	計	167	251	202	401	1,021	

・小中学校合計

男	1,503	女	1,451	計	2,954
---	-------	---	-------	---	-------

④ 保育園等・幼稚園・認定こども園

・保育園等

<保育園等一覧表>

保 育 園 名	所 在 地	定 員	電話番号
小 口 保 育 園	岡谷市銀座一丁目4-18	110人	22-2489
今 井 保 育 園	岡谷市長地6189番地1	90	22-2935
あ や め 保 育 園	岡谷市湖畔一丁目10-3	120	22-2680
川 岸 保 育 園	岡谷市川岸中二丁目7-14	90	22-3829
夏 明 保 育 園（休園中）	岡谷市川岸西一丁目18-16	60	23-4811 （子ども課）
成 田 保 育 園	岡谷市成田町二丁目10-6	90	22-2464
み な と 保 育 園	岡谷市湊三丁目6-50	90	22-3566
長 地 保 育 園	岡谷市長地鎮一丁目7-29	150	27-4194
若 草 保 育 園（休園中）	岡谷市加茂町三丁目8-28	90	23-4811 （子ども課）
西 堀 保 育 園	岡谷市堀ノ内一丁目6-4	120	22-7670
神 明 保 育 園	岡谷市神明町四丁目4-11	120	22-4555
横 川 保 育 園	岡谷市長地出早三丁目4-16	90	28-1180
聖ヨゼフ保育園岡谷（私立）	岡谷市山下町一丁目1-37	80	24-1477
ひまわり保育園（私立）	岡谷市長地権現町二丁目8-30	60	27-2816
信学会東堀こども園（私立）	岡谷市長地御所二丁目1563番地	135	27-9366
認定こども園ヤコブ幼稚園（私立）	岡谷市字上の原262番地2	60	22-2618
きらり岡谷市民病院園（私立）	岡谷市本町四丁目11-33撫子寮1階	19	23-6656
計		1,574	

※信学会東堀こども園、認定こども園ヤコブ幼稚園は1号認定定員を含む。

<保育園職員数>

（令和7年4月1日現在）

区 分	園長	保育士	補助 保育士	長時間保 育補助員	栄養士	補助 調理員	補助 相談員	合計
保育園名								
小口	1	5	9	3	0	4	0	22
今井	1	5	7	4	0	3	0	20
あやめ	1	8	12	6	1	6	1	35
川岸	1	6	10	5	1	5	1	29
成田	1	5	7	3	0	3	0	19
みなと	1	5	6	3	0	3	1	19
長地	1	6	9	6	1	5	0	28
西堀	1	6	10	5	1	5	0	28
神明	1	7	9	5	1	6	0	29
横川	1	5	8	2	0	3	0	19
育休、子ども課 付、総務課付	0	10	3	0	0	0	0	13
合 計	10	68	90	42	5	43	3	261

＜保育園等入所児童数＞

(令和7年5月1日現在)

保 育 園 名	定 員	初日入所人員	初日入所人員の年齢別内訳					
			0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳
小 口	110	62	1	5	11	14	21	10
今 井	90	51		2	10	11	15	13
あ や め	120	109		11	10	30	28	30
川 岸	90	87	1	7	11	23	18	27
夏 明								
成 田	90	52	1	7	8	15	9	12
み な と	90	37	2	1	8	7	7	12
長 地	150	86	1	9	10	19	27	20
若 草								
西 堀	120	93	1	8	11	24	26	23
神 明	120	101 (1)		9	11 (1)	28	25	28
横 川	90	50	1	2	12	10	7	18
公 立 合 計	1,070	728 (1)	8	61	102 (1)	181	183	193
東堀こども	120	103	1	10	16	23	28	25
ヤ コ ブ	10	25 (10)				6 (2)	10 (4)	9 (4)
聖ヨゼフ	80	77	3	11	11	13	18	21
ひまわり	60	59	3	7	10	11	15	13
きりり岡谷	19	13	1	5	7			
私立2・3号合計	289	277 (10)	8	33	44	53 (2)	71 (4)	68 (4)
東堀こども	15	15				7	4	4
聖 母	70	46 (9)				13 (2)	12 (2)	21 (5)
ヤ コ ブ	50	27 (3)				9	11 (2)	7 (1)
瑞 穂	15	7 (3)				6 (3)	1	
私立1号合計	150	95 (15)				35 (5)	28 (4)	32 (6)
私 立 合 計	439	372 (25)	8	33	44	88 (7)	99 (8)	100 (10)
総 合 計	1,509	1,100 (26)	16	94	146 (1)	269 (7)	282 (8)	293 (10)

※ () 内は、うち市外からの広域入所児童

・幼稚園

＜私立幼稚園＞

(令和7年5月1日現在)

園 名	設置別	学級数	園 児 数			定 員	教職員数	園 長 名	所 在 地 (電話番号)
			男	女	計				
聖 母 幼 稚 園	私立	3	21	25	46	70	12	有 浦 明 子	岡谷市大栄町二丁目3番26号 (22-5090) (山崎学園 24-0134)
瑞 穂 幼 稚 園	私立	3	3	4	7	15	9	佐 藤 梓 奈	岡谷市中央町一丁目8番13号 (22-3806)

※市外からの入所児童含む

・認定こども園

＜私立認定こども園＞

(令和7年4月1日現在)

園 名	設置別	学級数	園 児 数			定 員	教職員数	園 長 名	所 在 地 (電話番号)
			男	女	計				
信学会東堀こども園	私立	8	65	53	118	135	33	深 澤 か が り	岡谷市長地御所二丁目1563番地 (27-9366)
認定こども園 ヤコブ幼稚園	私立	3	22	29	51	60	20	有 浦 明 子	岡谷市字上の原262番地2 (22-2618) (山崎学園 24-0134)

⑤ 学級編制「30人規模学級（35人基準）編制」導入経過

【学級編制の基準】

公立小中学校の学級編制は、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」により、1クラス40人（小学校第1学年のみ35人）と規定され、国基準により編制した学級数に応じて担任（県費教職員）が配置され、義務教育費国庫負担制度に基づく教員の人件費補助が措置される。

令和2年度、文部科学省は一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細かな指導を可能とする指導体制と安全・安全な教育環境を整備するため、公立小学校の学級編制基準を段階的に引き下げ、小学校全学年を35人編制とする法改正を行い、令和3年度から令和7年度にかけ1学年ずつ、35人編制に移行している。

【長野県による信州少人数教育推進事業】

長野県では、国に先駆け平成14年度から「信州少人数教育推進事業」として、県独自に公立小中学校の30人規模学級（35人基準）編制を推進している。学級平均児童数が35人を超える学年への学級数の増加に伴う教員配置のほか、小学校1～2年生対象に30人を超える学級に教員を配置する学習習慣形成支援、習熟度に差が生じやすい教科で30人以下の学習集団を編成できる教員を配置する少人数学習集団編成など、一人ひとりに応じたきめ細かな指導ができるよう、県費負担による教員加配制度を設けている。

岡谷市では県方針に基づき、平成14年度から段階的に30人規模学級（35人基準）を導入し、現在は市内全小中学校において導入している。

【30人規模学級（35人基準）導入経過】

年度	導入の経過
平成14年度	川岸小、神明小、長地小1～3年実施（全額県費負担）
平成16年度	川岸小、神明小、小井川小、長地小1～3年実施（全額県費負担） 長地小4年は県費・市費負担により実施
平成18年度	川岸小、神明小、小井川小、田中小、長地小、上の原小1～4年実施（全額県費負担） 川岸小、神明小、長地小5～6年は県費・市費負担にて実施
平成19年度	川岸小、神明小、小井川小、田中小、長地小、上の原小1～4年実施（全額県費負担） 川岸小、神明小、小井川小、田中小、長地小、上の原小5～6年は県費・市費負担にて実施
平成21年度	小学校全校実施（全額県費負担）
平成23年度	小学校全校実施、南部中1年実施（全額県費負担）
平成24年度	小学校全校、北部中、南部中、東部中1～2年実施（全額県費負担）
平成25年度	小学校全校、北部中、南部中、東部中1～3年実施（全額県費負担）
平成26年度	小中学校全校実施（全額県費負担）

⑥ 学校別年度別児童生徒数及び学級数見込み（令和7年5月1日現在）

- *各学年の「児童生徒数」には、特別支援は含まない。
- *次年度以降の特別支援学級の学級数は、令和7年度を参考とした推測数。

川岸小学校（特別支援学級：3学級（知障1、情障2））

	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度		令和13年度	
	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数
1学年	41	2	42	2	26	1	36	2	30	1	27	1	28	1
2学年	44	2	41	2	42	2	26	1	36	2	30	1	27	1
3学年	32	1	44	2	41	2	42	2	26	1	36	2	30	1
4学年	48	2	32	1	44	2	41	2	42	2	26	1	36	2
5学年	45	2	48	2	32	1	44	2	41	2	42	2	26	1
6学年	56	2	45	2	48	2	32	1	44	2	41	2	42	2
特別支援学級	19	3	19	3	16	3	15	3	14	3	13	3	12	3
計	285	14	271	14	249	13	236	13	233	13	215	12	201	11

神明小学校（特別支援学級：4学級（知障1、情障3））

	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度		令和13年度	
	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数
1学年	47	2	42	2	48	2	38	2	33	1	24	1	37	2
2学年	44	2	47	2	42	2	48	2	38	2	33	1	24	1
3学年	52	2	44	2	47	2	42	2	48	2	38	2	33	1
4学年	49	2	52	2	44	2	47	2	42	2	48	2	38	2
5学年	39	2	49	2	52	2	44	2	47	2	42	2	48	2
6学年	42	2	39	2	49	2	52	2	44	2	47	2	42	2
特別支援学級	27	4	26	3	20	3	18	3	18	3	15	3	15	3
計	300	16	299	15	302	15	289	15	270	14	247	13	237	13

小井川小学校（特別支援学級：4学級（知障1、情障2、弱視1））

	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度		令和13年度	
	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数
1学年	39	2	38	2	43	2	36	2	33	1	39	2	20	1
2学年	37	2	39	2	38	2	43	2	36	2	33	1	39	2
3学年	35	1	37	2	39	2	38	2	43	2	36	2	33	1
4学年	43	2	35	1	37	2	39	2	38	2	43	2	36	2
5学年	39	2	43	2	35	1	37	2	39	2	38	2	43	2
6学年	54	2	39	2	43	2	35	1	37	2	39	2	38	2
特別支援学級	19	4	16	3	15	3	15	3	14	3	13	3	13	3
計	266	15	247	14	250	14	243	14	240	14	241	14	222	13

岡谷田中小学校（特別支援学級：3学級（知障1、情障2））

	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度		令和13年度	
	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数
1学年	58	2	47	2	39	2	54	2	28	1	33	1	37	2
2学年	45	2	58	2	47	2	39	2	54	2	28	1	33	1
3学年	55	2	45	2	58	2	47	2	39	2	54	2	28	1
4学年	49	2	55	2	45	2	58	2	47	2	39	2	54	2
5学年	55	2	49	2	55	2	45	2	58	2	47	2	39	2
6学年	55	2	55	2	49	2	55	2	45	2	58	2	47	2
特別支援学級	19	3	19	3	18	3	17	3	16	3	15	3	14	3
計	336	15	328	15	311	15	315	15	287	14	274	13	252	13

湊小学校（特別支援学級：1学級（情障））

	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度		令和13年度	
	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数
1学年	9	1	12	1	8	1	7	1	7	1	5	1	8	1
2学年	6	1	9	1	12	1	8	1	7	1	7	1	5	1
3学年	15	1	6	1	9	1	12	1	8	1	7	1	7	1
4学年	13	1	15	1	6	1	9	1	12	1	8	1	7	1
5学年	18	1	13	1	15	1	6	1	9	1	12	1	8	1
6学年	17	1	18	1	13	1	15	1	6	1	9	1	12	1
特別支援学級	4	1	3	1	3	1	3	1	3	1	3	1	3	1
計	82	7	76	7	66	7	60	7	52	7	51	7	50	7

長地小学校（特別支援学級：8学級（知障2、情障6））

	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度		令和13年度	
	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数
1学年	75	3	62	2	87	3	63	2	74	3	39	2	68	2
2学年	79	3	75	3	62	2	87	3	63	2	74	3	39	2
3学年	78	3	79	3	75	3	62	2	87	3	63	2	74	3
4学年	83	3	78	3	79	3	75	3	62	2	87	3	63	2
5学年	73	3	83	3	78	3	79	3	75	3	62	2	87	3
6学年	65	2	73	3	83	3	78	3	79	3	75	3	62	2
特別支援学級	51	8	45	5	44	5	43	5	38	5	38	5	38	5
計	504	25	495	22	508	22	487	21	478	21	438	20	431	19

上の原小学校（特別支援学級：3学級（知障1、情障2））

	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度		令和13年度	
	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数
1学年	25	1	30	1	16	1	23	1	26	1	19	1	14	1
2学年	21	1	25	1	30	1	16	1	23	1	26	1	19	1
3学年	23	1	21	1	25	1	30	1	16	1	23	1	26	1
4学年	27	1	23	1	21	1	25	1	30	1	16	1	23	1
5学年	21	1	27	1	23	1	21	1	25	1	30	1	16	1
6学年	30	1	21	1	27	1	23	1	21	1	25	1	30	1
特別支援学級	13	3	12	3	12	3	12	2	9	2	9	2	8	2
計	160	9	159	9	154	9	150	8	150	8	148	8	136	8

7小学校合計

	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度		令和13年度	
	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数
川岸小	285	14	271	14	249	13	236	13	233	13	215	12	201	11
神明小	300	16	299	15	302	15	289	15	270	14	247	13	237	13
小井川小	266	15	247	14	250	14	243	14	240	14	241	14	222	13
岡谷田中小	336	15	328	15	311	15	315	15	287	14	274	13	252	13
湊小	82	7	76	7	66	7	60	7	52	7	51	7	50	7
長地小	504	25	495	22	508	22	487	21	478	21	438	20	431	19
上の原小	160	9	159	9	154	9	150	8	150	8	148	8	136	8
計	1,933	101	1,875	96	1,840	95	1,780	93	1,710	91	1,614	87	1,529	84

岡谷西部中学校（特別支援学級：3学級（知障1、情障2））

	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度		令和13年度	
	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数
1学年	52	2	55	2	44	2	47	2	31	1	43	2	40	2
2学年	41	2	52	2	55	2	44	2	47	2	31	1	43	2
3学年	58	2	41	2	52	2	55	2	44	2	47	2	31	1
特別支援学級	16	3	14	4	14	4	14	4	13	4	13	4	13	4
計	167	9	162	10	165	10	160	10	135	9	134	9	127	9

岡谷北部中学校（特別支援学級：3学級（知障1、情障2））

	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度		令和13年度	
	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数
1学年	85	3	74	3	61	2	75	3	74	3	66	2	71	3
2学年	72	3	85	3	74	3	61	2	75	3	74	3	66	2
3学年	75	4	72	3	85	3	74	3	61	2	75	3	74	3
特別支援学級	19	3	19	3	18	3	18	3	18	3	18	3	18	3
計	251	13	250	12	238	11	228	11	228	11	233	11	229	11

岡谷南部中学校（特別支援学級：3学級（知障1、情障2））

	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度		令和13年度	
	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数
1学年	59	2	65	2	66	2	56	2	65	2	46	2	62	2
2学年	55	3	59	2	65	2	66	2	56	2	65	2	46	2
3学年	76	3	55	3	59	2	65	2	66	2	56	2	65	2
特別支援学級	12	3	12	2	12	2	12	2	12	2	12	2	12	2
計	202	11	191	9	202	8	199	8	199	8	179	8	185	8

岡谷東部中学校（特別支援学級：4学級（知障1、情障3））

	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度		令和13年度	
	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数
1学年	113	4	105	3	99	3	115	4	104	3	105	3	105	3
2学年	130	4	113	4	105	3	99	3	115	4	104	3	105	3
3学年	130	4	130	4	113	4	105	3	99	3	115	4	104	3
特別支援学級	28	4	24	4	24	4	24	4	23	4	23	4	23	4
計	401	16	372	15	341	14	343	14	341	14	347	14	337	13

4 中学校合計

	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度		令和13年度	
	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数
岡谷西部中	167	9	162	10	165	10	160	10	135	9	134	9	127	9
岡谷北部中	251	12	250	12	238	11	228	11	228	11	233	11	229	11
岡谷南部中	202	10	191	9	202	8	199	8	199	8	179	8	185	8
岡谷東部中	401	16	372	15	341	14	343	14	341	14	347	14	337	13
計	1,021	47	975	46	946	43	930	43	903	42	893	42	878	41

	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度		令和13年度	
	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数
小学校計	1,933	101	1,875	96	1,840	95	1,780	93	1,710	91	1,614	87	1,529	84
中学校計	1,021	47	975	46	946	43	930	43	903	42	893	42	878	41
合計	2,954	148	2,850	142	2,786	138	2,710	136	2,613	133	2,507	129	2,407	125

⑦ 人口及び児童生徒数の年比較

(毎年5月1日現在)

年度	人口(A) 人	増減指数 平成2年を 100とした場合 %	小 学 校		中 学 校		小中学校	
			児童数(B) 人	増減 指数 %	生徒数(C) 人	増減 指数 %	児童生徒数 合計(D) 人	人口対比 (D/A) %
3	59,599	100.0	4,141	95.2	2,696	97.4	6,837	11.5
4	59,456	99.8	3,996	91.8	2,476	89.5	6,472	10.9
5	58,944	98.9	3,841	88.3	2,344	84.7	6,185	10.5
6	58,705	98.5	3,738	85.9	2,088	75.4	5,826	9.9
7	58,367	97.9	3,561	81.8	2,006	72.5	5,567	9.5
8	57,725	96.9	3,458	79.5	1,878	67.8	5,336	9.2
9	57,220	96.0	3,303	75.9	1,884	68.1	5,187	9.1
10	57,070	95.8	3,172	72.9	1,812	65.5	4,984	8.7
11	56,960	95.6	3,144	72.3	1,808	65.3	4,952	8.7
12	56,837	95.4	3,087	70.9	1,701	61.5	4,788	8.4
13	56,290	94.4	3,082	70.8	1,635	59.1	4,717	8.4
14	55,932	93.8	3,084	70.9	1,557	56.3	4,641	8.3
15	55,613	93.3	3,049	70.1	1,529	55.2	4,578	8.2
16	55,424	93.0	3,096	71.2	1,508	54.5	4,604	8.3
17	54,986	92.3	3,097	71.2	1,516	54.8	4,613	8.4
18	54,380	91.2	3,105	71.4	1,486	53.7	4,591	8.4
19	53,877	90.4	3,112	71.5	1,507	54.4	4,619	8.6
20	53,616	90.0	3,093	71.1	1,495	54.0	4,588	8.6
21	53,271	89.4	3,120	71.7	1,521	54.9	4,641	8.7
22	52,772	88.5	2,992	68.8	1,528	55.2	4,520	8.6
23	52,556	88.2	2,898	66.6	1,555	56.2	4,453	8.5
24	52,041	87.3	2,856	65.6	1,524	55.1	4,380	8.4
25	51,376	86.2	2,833	65.1	1,505	54.4	4,338	8.4
26	50,845	85.3	2,760	63.4	1,441	52.1	4,201	8.3
27	50,341	84.5	2,671	61.4	1,464	52.9	4,135	8.2
28	49,824	83.6	2,682	61.6	1,350	48.8	4,032	8.1
29	49,413	82.9	2,609	60.0	1,308	47.3	3,917	7.9
30	48,826	81.9	2,490	57.2	1,223	44.2	3,713	7.6
元	48,440	81.3	2,351	54.0	1,287	46.5	3,638	7.5
2	47,947	80.4	2,278	52.4	1,278	46.2	3,556	7.4
3	47,322	79.4	2,149	49.4	1,279	46.2	3,428	7.2
4	46,712	78.4	2,077	47.7	1,198	43.3	3,275	7.0
5	46,241	77.6	2,022	46.5	1,155	41.7	3,177	6.9
6	45,606	76.5	1,981	45.5	1,064	38.4	3,045	6.7
7	44,967	75.4	1,933	44.4	1,021	36.9	2,954	6.6

人口：毎月人口異動調査より

⑧ 中学校卒業者の進路状況

(令和7年3月卒業者)

学 校 名	男 女 別	進学者(就職進学者を含む)							教育訓練機関入学者				就 職 者	左 記 以 外 者	卒 業 者 総 数	
		高等学校			高等 学校 別 科	高等 専門 学校	特別支援 学 校 部		専修学校		各種 学校	訓練 施設等				公共 職業
		全 日 制	定 時 制	通 信 制			本 科	別 科	高 等 課 程	一 般 課 程						
岡谷西部	男	20	1				2								23	
	女	23													23	
	計	43	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	46	
岡谷北部	男	45	1	2		2									51	
	女	56	3	3			1		1						65	
	計	101	4	5	0	2	1	0	1	0	0	0	0	2	116	
岡谷南部	男	26	1	4		3									36	
	女	37		4											41	
	計	63	1	8	0	3	0	0	0	0	0	0	0	2	77	
岡谷東部	男	65		7											72	
	女	63		4			1								68	
	計	128	0	11	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	140	
計	男	156	3	13	0	5	2	0	0	0	0	0	0	3	182	
	女	179	3	11	0	0	2	0	1	0	0	0	0	1	197	
	計	335	6	24	0	5	4	0	1	0	0	0	0	4	379	

⑨ 小中学校通学区域

学 校 名		通 学 区 域
小 学 校	川 岸	川岸地区全部
	神 明	今井 1. 4～12. 16 町内、今井 3 町内国道下、間下全部、 小井川 12. 13. 15. 16. 17 国道下、18. 22. 23. 24. 26. 27. 28 町内、 今井神明台、今井塩嶺、樋沢
	小 井 川	小井川 1～11. 14. 19. 20. 21. 25. 29 町内 小口全部、西堀全部
	岡谷田中	下浜全部、小尾口全部、上浜全部、岡谷全部、新屋敷全部
	湊	湊地区全部
	長 地	中屋全部、中村 1～6. 8. 9 町内、東堀全部
	上 の 原	横川全部、中村 7 町内、今井 2. 13. 14. 15 町内、今井 3 町内国道上 小井川 17 町内国道上
中 学 校	西 部	川岸地区全部
	北 部	今井全部、間下全部、小口全部、小井川 3. 4. 10～29 町内、樋沢
	南 部	湊地区全部、下浜全部、小尾口全部、上浜全部、岡谷全部、 新屋敷全部
	東 部	長地地区全部、西堀全部、小井川 1. 2. 5～9 町内

⑩ グランドデザイン

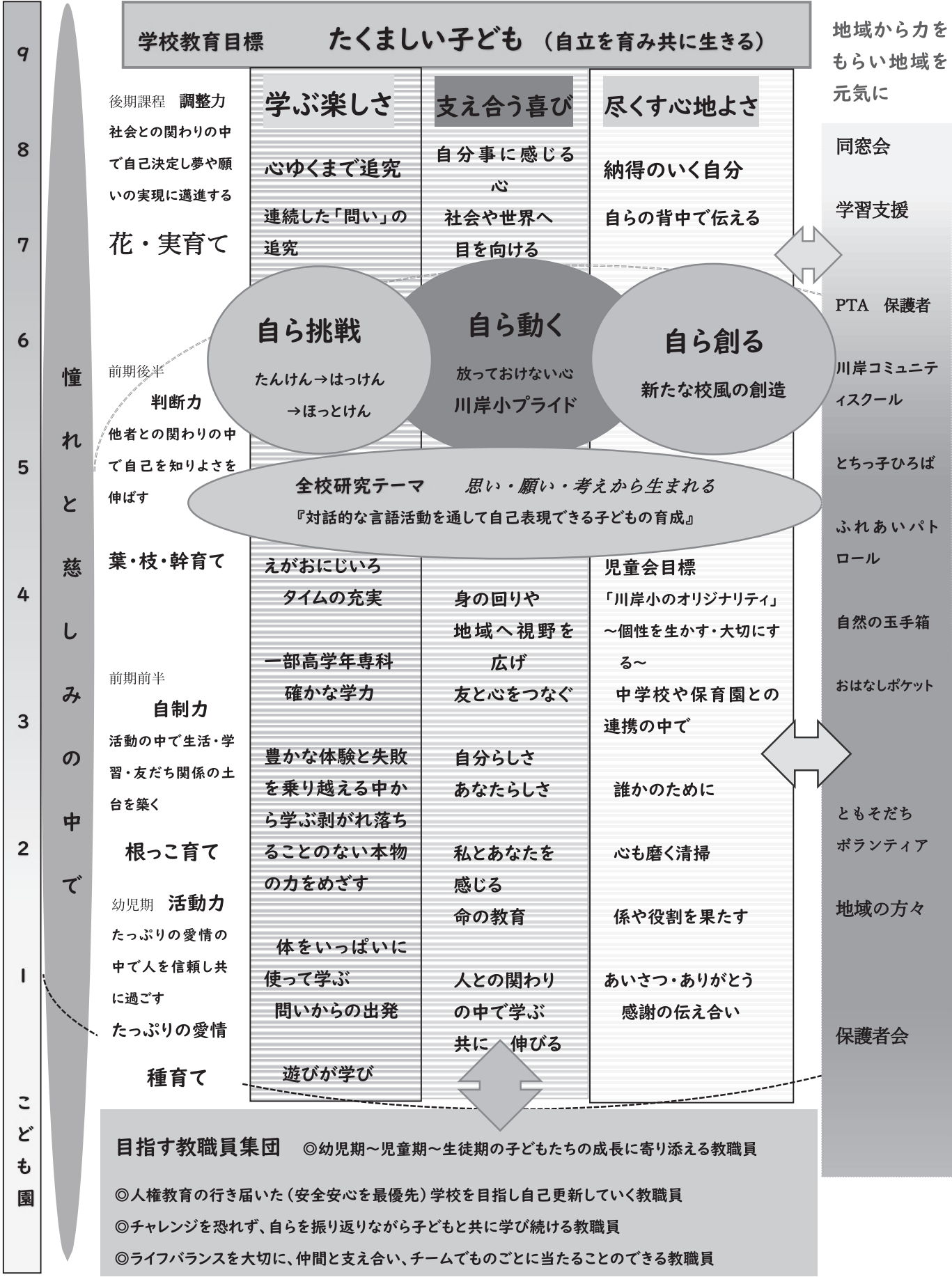
小 学 校

・川 岸 小 学 校	・ P26
・神 明 小 学 校	・ P27
・小 井 川 小 学 校	・ P28
・岡 谷 田 中 小 学 校	・ P29
・湊 小 学 校	・ P30
・長 地 小 学 校	・ P31
・上 の 原 小 学 校	・ P32

中 学 校

・岡 谷 西 部 中 学 校	・ P33
・岡 谷 北 部 中 学 校	・ P34
・岡 谷 南 部 中 学 校	・ P35
・岡 谷 東 部 中 学 校	・ P36

令和7年度 川岸小学校グランドデザイン(川岸学園へ向けて)



令和7年度 岡谷市立神明小学校 グランドデザイン

おかや子育て憲章

～子どもの心の自立を支えるために 市民総参加による 子育てのまちづくり～

○明るく元気で健やかな子どもに育てます。

○命を大切にし、感謝の心と思いやりのある子どもに育てます。 ○自ら求め、粘り強くやり抜く子どもに育てます。

○行動に責任を持ち、ひとりだちのできる子どもに育てます。

○力を合わせ人のために尽くし、郷土を愛する子どもに育てます。

岡谷市教育大綱 学校教育のスローガン「生き抜く力と創造力、知的好奇心溢れる心豊かなひとづくり」

〔めざす学校像〕

〔学校教育目標〕 つむぐ～「絆」「学び」「夢」～

〔願う子ども像〕

子どもが主人公の学校

子どもが、主体的に、協働的に、創造的に学ぶ授業づくり

- 【絆をつむぐ子ども】 もの・ひと・こととのかかわりを深めていく子ども
- 【学びをつむぐ子ども】 学びと生活を結びつけ、生きて働く力をつける子ども
- 【夢をつむぐ子ども】 今を精一杯に生き、未来に向かって歩む子ども

〔本年度の重点目標・具体的方策〕

1 絆をつむぐ子ども

【神明小3つの上手】

- ① 聴き上手
相手の話を最後までしっかりと聴きます。
- ② 伝え上手
自分の言葉で、思ったことを伝えます。
- ③ あいさつ上手
「ありがとう」「ごめんね」「おはよう」「さようなら」あいさつを大事にします。

3 夢をつむぐ子ども

【笑顔で安心して学べる教育環境づくり】

- ◇どの子にも担任のつもりでかかわる支援
- ◇チーム支援・チームでの対応 “チーム神明小”
- ◇お互いの人権を大切に日常生活
- ◇ことばを大事に
- ◇学びのつながりを大切に学校生活
- ◇幼保小中連携・地域との協働・様々な学びの場

2 学びをつむぐ子ども

【子どもと共に創る授業】

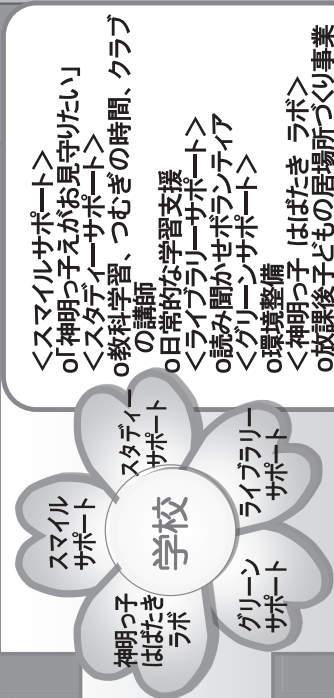
◇学力向上の柱

- 柱1：「つむぎの時間」の実践
- 柱2：子どもが自分ごとととらえる学びの実践
- 柱3：一人ひとりが主体的に家庭学習・読書ができる実践力

- ◇授業を核に活動を展開…児童理解・授業研究・教材研究を大切に
- ◇ふるさと岡谷に学ぶ学習の推進（岡谷スタンダードカリキュラム）

地域に根ざした特色ある学校創りの推進

コミュニティスクール…「フラープラン」



2025 岡谷市立小井川小学校 グランドデザイン

【岡谷子育て憲章】

わたしたちは

- ・明るく元気で健やかな子どもに育てます。
- ・命を大切に感謝の心とおもいやりのある子どもを育てます。
- ・自ら求め粘り強くやり抜く子どもに育てます。
- ・行動に責任を持ち独り立ちのできる子どもに育てます。
- ・力を合わせ人のために尽くし郷土を愛する子どもに育てます。

【魅力ある岡谷の学校づくり】

- 岡谷スタンダードカリキュラムの推進
- ・地域に根ざした特色ある学校づくりの推進
- ・岡谷市読書5カ年計画
- ふるさと「岡谷」に学ぶ学習の充実
- ・確かな学力保障と成長保障を図る授業の充実
- ・「自立と共生」につながる教育活動の充実

本校の児童のよさ

- ◆優しく素直な子ども
- ◆何事も一生懸命取り組む子ども
- ◆明るい挨拶ができる子ども
- ◆やるべきことは誠実に取り組める子ども

本校の児童への期待

- ◆自ら課題を持ち、粘り強く追究してほしい
- ◆相手を意識し自分の思いや考えを伝えてほしい

これから生きるために必要な力

- ◆予測困難な時代を自ら切り拓いていく力
- ◆改定された学習指導要領を踏まえて培う3つの学力
- ◆多様性を認め合い、知性と清らかな人間性を併せ持つ人間力

小井川小学校を取り巻く環境

- ◆文化や伝統が息づく歴史ある岡谷市の中心地にある学校
- ◆学校支援ボランティアや地域の方の献身的な支え
- えがおまもり隊 ラムラム広場
- 読み聞かせサークルどんぐり
- 放課後子ども教室おいかわっこ
- ◆協力的で理解ある保護者の姿勢

小井川小 学校目標

『自ら求めてうごく子ども』

- 1 子どもたちが がんばれる学校
- 2 子どもたちが 満足感や達成感を得られる学校
- 3 学ぶことが楽しいと思える学校

市内中学校教育目標

岡谷北部中

思いやりをもって友と協働する生徒

自己決定する生徒

向上心をもって取り組む生徒

岡谷東部中

未来を拓く

自主・創造・尊重

幼保小連携

幼少期を踏
まえた
目指す子ども
像の共有

プラタナス新設

教室環境のUD化
人的環境のUD化
授業のUD化

ICT 機器利活用

小井川小のあいことば

かかわる力・かんがえる力・かわる力

全校研究テーマ

「自ら課題をもち、ともに関わり合いながら、
確かな力をつけていく子ども」

本年度の指導の重点 ～学力向上のために～

◆ 個別最適な学びの推進

- ・自分に合った学び方を選んでいける学びの推進
- ・ICT 機器の利活用や本来の力を発揮できる合理的配慮

◆ 協働的な学びの推進

- ・自分の持ち味を活かし、他者と関わりながら新たな価値を生み出し、追究を深めていける学びの推進

◆ 自ら学ぶ学習習慣の形成

- ・課される学習から、自ら学びをつくっていく学習習慣の形成
- ・高学年からの家庭学習充実

◆ 「多層指導モデルMIM」の実施

- ・「読み」を学習の根幹と捉えた指導方法を活用した効果的な指導の推進と客観的な児童の評価

評価

学校自己評価「授業が分かる」AB の割合 80%
学校自己評価「友達と話したり一緒に考えたり…」AB の割合 80%
CRT テスト平均以上

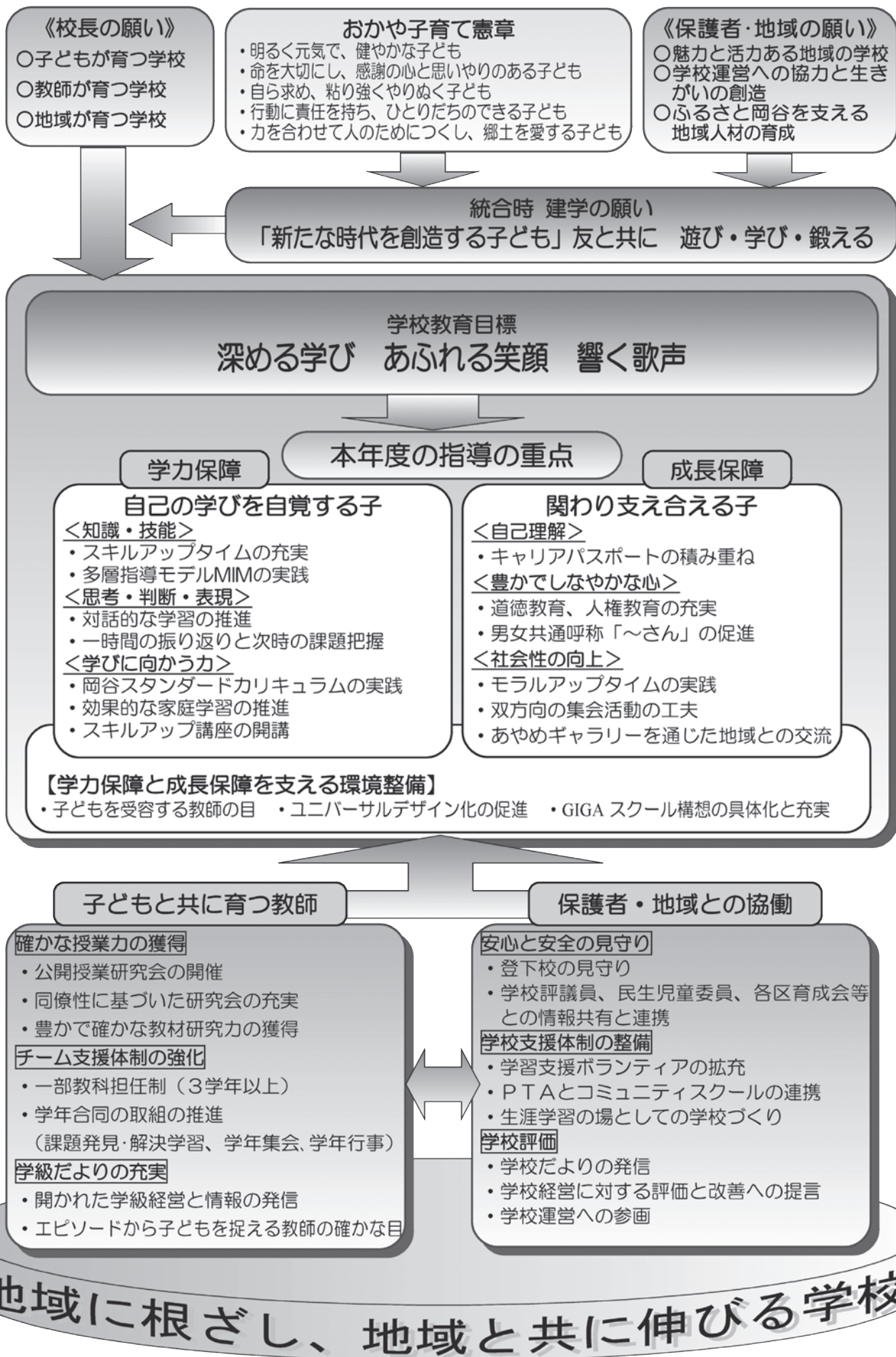
学校自己評価「自分のいいところが増えた」AB の割合 80%
学校自己評価「友達と仲良く生活している」AB の割合 80%

学校自己評価「元気に遊んだり運動したり…」AB の割合 80%
学校自己評価「学校が楽しい」AB の割合 80%

学校評議員の評価 児童の姿のよさ小井川小らしさの認知

教師による毎日の授業の振り返り

令和7年度 岡谷市立岡谷田中小学校 グランドデザイン



子どもの様子

- 友だちの良さを認められる子が多い。 ○自分の役割に責任をもって取り組む。 ○学年を超えた温かな交流をする。
○地域の活動に積極的に参加する子が多い。 □自己表現が苦手な子がいる。 □人と出会う様々な経験が少ない。

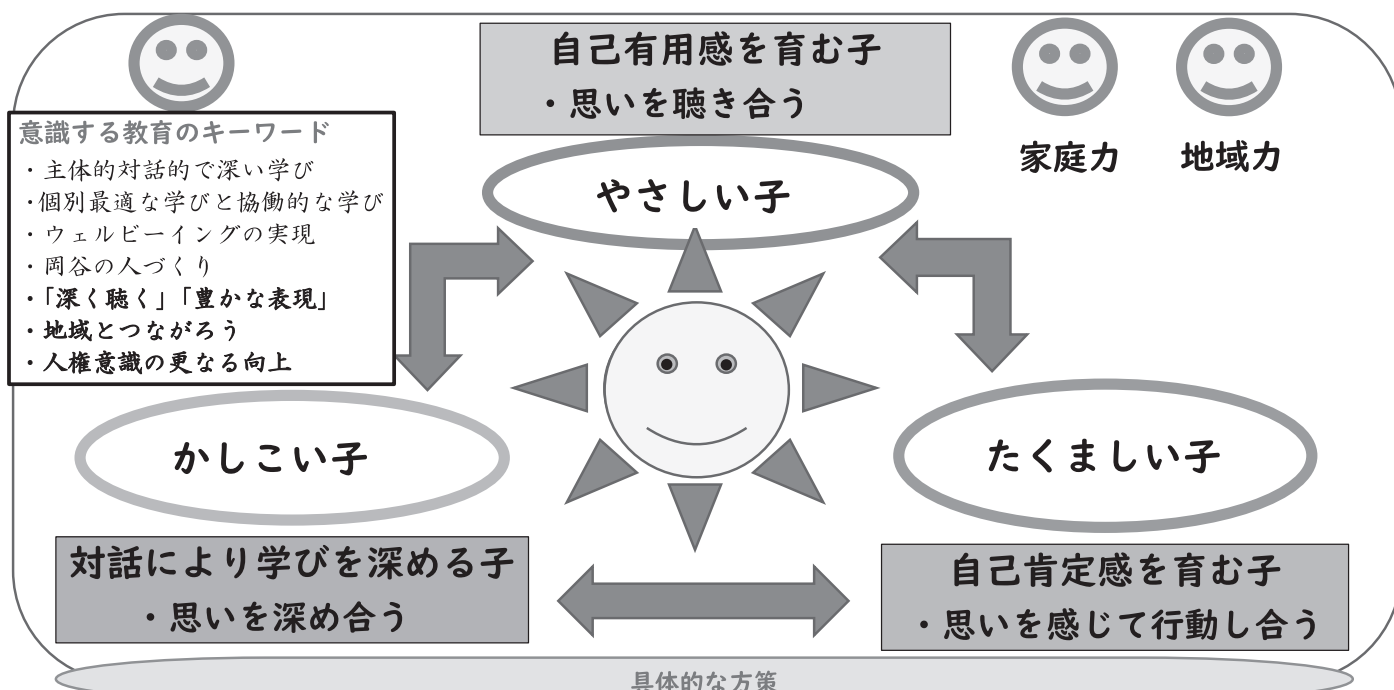
目指す学校像

みんな かよし もだち
湊小学校

目指す子ども像

『聴き合い、深め合い、思いを感じて行動し合う』湊の子

学校教育目標：やさしい子 かしこい子 たくましい子



具体的な方策

○心をつなぐあいさつ

- ・学級指導, 児童会企画, おはよう日
- 思いやりを育む異学年交流
- ・縦割り活動, 児童会企画, 湖の子集会
- ・連学年交流, わかたけ学級との交流, 聴く力の育成
- 自分の居場所がある
- ・目標をもつ, 係や委員会等での役割
- 様々な立場を認め合う教育活動
- ・幼保小中との交流や連携, 道德教育, 思い合い月間, 福祉授業
- * 教師の力量を高める研修
- ・特別支援教育についての理解を深める研修

○主体的に学ぶ

- ・問いがあり, 対話が生まれる子ども主体の授業づくり, 授業のユニバーサルデザイン化, わからないと言える学級
- 探究的に学ぶ
- ・ふるさと学習 (岡谷スタンダードカリキュラム活用), 話す・聴く・考える活用する力の育成
- 自律して学ぶ
- ・自分の課題をもった自主学習の推進
- ・タブレットの活用, チャレンジタイム
- * 教師の力量を高める研修
- ・授業改善に向けての研修
- ・ICT 研修, 交換授業, 相互授業参観

○人間関係力の育成

- ・温かな学級づくり, SST (ソーシャルスキルトレーニング) の活用, ネットモラル, 伝えて行動する力の育成, 諸外国の生活や文化などの学習活動
- 心身の健康維持
- ・体力づくり (全校集会, マラソン等)
- ・外遊びの励行 (学級, 異学年交流等)
- ・体力アップ, なかよしアンケート
- 豊かな心の育成
- ・読書活動, リコーダー演奏
- * 教師の力量を高める研修
- ・自己理解 (QU アセス), SST, 自己肯定感を高める言葉かけ, 学級づくりについて研修

合言葉

湊 心一つ

家庭との連携 (家庭力)

- ・あいさつの日常化, おはよう日における安全指導
- ・家族内の対話UP, 自己肯定感を高める言葉かけ
- 「ありがとう たすかったよ うれしいな」
- ・学校と連携した家庭学習 (学習の手引きの活用)
- ・早寝, 早起き, 朝ごはん推進, 日々の健康管理
- ・家庭読書, ICT 活用の推進

地域との連携 (地域力)

- ・あいさつ運動と安全指導 (おはよう日)
- ・ボランティア, 地域の人材, 関係団体
- ・地域での異学年交流の推進 (あそぼう日)
- ・大人との対話, 子ども主体の地域行事
- ・湊コミュニティスクール
- ・H18 豪雨災害の記憶 ・『春四之柱』に誇りを

R 7 年度 岡谷市立長地小学校グランドデザイン

長地小学校の 伝統的な合言葉

- ・けんこうで
- ・あいさつ
- ・おしごと
- ・おべんきょう

協働組織

- ・PTA
- ・学校評議員会
- ・長地CS
- ・学校支援ボランティア
- ・長地会

【教育理念】

「対話する学校」
社会に開かれた教育課程

【めざす子ども像】

「自分を好きと言える長地の子」

めざす教職員像 「教える教師から学ばせる教師へ」
めざす学校像 「授業づくりを根幹とする学校」

岡谷市教育大綱より

自立し、共生し、創造性溢れる「岡谷のひと」づくり

【岡谷市のめざす教育】

子ども達の人生の礎となる確かな学びと成長を実現し、自己肯定感と自己有用感を醸成するとともに、共生社会を生き抜く力と創造性溢れる豊かな感性、人間性を育む

学習指導要領より

主体的・対話的で深い学び

【経営概要】

学校づくりのねらい

「対話する学校」を合言葉にする学校づくりと、問いをもって物事の本質を探究する対話的な授業実践を通して「協働する力」を高め、「自分を好きと言える長地の子」を育成する。

※「協働する力」とは、「【聴く】【問う】を基盤とする対話を通して、複数人で知恵を出し合い、問題を解決する力」

【学校教育目標】

問いをもって学び合う長地の子

【教育課題】

「聴く」「問う」を大切にした対話的（協働的）な授業づくり

- ・手づくり単元の充実（生活科・総合的な学習の時間の充実）
- ・ユニバーサルデザインの充実（特別支援教育の重視）
- ・「岡谷スタンダードカリキュラム」の活用

正解のない課題から最適解を創造し、表現し共有するこれからの社会に生きる子どもたちには、他者と協働しながら複雑な現象に対し情報収集・分析・判断をし、実行した結果を社会に問うていく能力が必要となる。（スタンダードカリキュラム p.2 より）

令和7年度 全校研究テーマ

「自分が好き」と言える長地の子の育成（自己有用感を高めていくために）

研究推進3つのチャレンジ

- 1 部会研究の推進（チームで対話的・協働的な授業研究や、主事の単元訪問活用によるスキルアップ）
- 2 小グループ（4～5人）研究の推進（お互いの授業を定期的に見合っ、授業力アップ）
- 3 教職員個々のスキルアップ研究の推進（学期ごと自己課題の成果と課題を確認して日々の授業の改善）



- 読書活動の充実
- ICTによる協働の学び

岡谷東部中学校 学校教育目標

「未来を拓く」

自立・創造・尊重

令和7年度 岡谷市立上の原小学校グランドデザイン



校是「誠・明・健」

誠なる子=みんななかよし 明なる子=すすんで学ぶ 健なる子=心も体も健やかに
基本姿勢「かけがえのない命を守る」

学校教育目標

- ① 誠実で思いやりのある人間関係をいっしょにつくろう
- ② 自ら問いをもち追究していく学びをいっしょにつくろう
- ③ 心身ともに健康で安全意識の高い生活をいっしょにつくろう

岡谷市教育大綱『教育の理念』
自立し、共生し、創造性溢れる『岡谷のひと』づくり

長野県教育進行計画 より「めざす姿」
個人と社会のウェルビーイングの実現

★目指す学校像★ 毎日行きたくなる 上の原小学校

「このような子どもの育ちを 願います」

自分の気持ちや考えを伝える人 相手の気持ちや考えを聴き（想像し）協力する人



人権感覚

周囲とつながる



自信

自ら学び、
更新する



健康

「身体」と「心」を
大切にする

そのために「このような活動に 重点的に 取り組みます」

□「継続的に取り組む活動」を位置づけた、「わたしの願いを実現できる」学校生活づくり

子どもが考えること、
活動することを楽しむ授業

□健康な身体づくり

□学級活動・児童会活動・清掃活動等での「自己有用感」の育成

□基礎的・基本的学力の定着

□子どもの「安心」につなげるための面談の時間の確保

□ふれあいタイム、縦割り活動等での「互いを思いやる力」の育成

□「子どもが考える時間」、「子どもが活動する時間」を大切にする授業

□命を守る学習による、判断力と行動力の育成

□基本的生活習慣の定着

子どもの『今』を
大切に受け入れる学校風土

□興味関心を大切に、学び続ける姿勢の育成に向けた取組

健康・安全な生活の
実践力を育てる日常の取組

教師の姿勢・学校の体制・連携協議の方向

- ★子どもの命を守る安心・安全な学校のための管理体制（マニュアルの継続的な活用・改善）
- ★子どもが見ている対象を「並び観る」ことのできる教師の姿勢
- ★計画的な職員研修で健康的に学びつづける教師集団
- ★インクルーシブな生き方につながる UD(ユニバーサルデザイン)の視点による環境での授業
- ★組織的で迅速な生徒指導体制、適切な就学のための児童理解体制の整備
・確実な「報・連・相」 ・登校支援・就学支援・教育相談（支援会議、ケース会議の充実）
- ★保護者・PTA 活動・地域との温かみのあるつながり・コミュニティースクール
- ★岡谷スタンダードカリキュラムの活用 ★情報発信（各種通信・メール 等）

改善

チェックリスト・学校評価・全国学テ・児童アンケート・学校評議員会

評価

岡谷子育て憲章

- ・明るく元気で、健やかな子ども
- ・命を大切にし、感謝の心と思いやりのある子
- ・自ら求め、粘り強くやり抜く子
- ・行動に責任をもち、ひとりだちのできる子
- ・力を合わせて人のた

学校長の願い

広い視野に立ってものごとを考え、自身と地域に誇りをもてる生徒が育つ学校

学校教育目標 【自立を育み共に生きる】

＜自立＞

他者を大事に、自ら考え、判断し、責任をもって行動する生徒

＜共生＞

多様性を認め合い、他者の考えに学び、自分の考えを広げたり、深めたりする生徒

＜③自己肯定感・有用感の向上＞

【学級会の充実】

生徒主体の学級・学年行事
学級（学年）学友会

【学友会の充実】

＜スローガン＞

『ともに』

○全校で協力しながら意見を尊重し出し合い、
過ごしやすくと感じられる学校
○みんなが楽しめる学校

川岸小児童会との連携・交流

自治的活動の充実

- 生徒主体の部活動
- 新しい学校づくりへの参画

＜②学ぶ楽しさの実感＞

「個別最適な学び」
をめざす授業づくり

＜授業づくりテーマ＞
自分だけの学びを
デザインしよう
～ペース・方法・環境～
授業の質的向上を目指す
研究グループによる研究体制

主体的に取り組む
家庭学習の習慣化

ICT・図書館の活用の充実

- 「わかった」「できるようになった」が
自覚できる授業

花咲く丘プロジェクト
1学年…岡谷プロジェクト
2～3学年…未来プロジェクト
学級総合を基本とし地域素材の
教材化や生徒の興味関心に基づいた
題材を追究していく



＜①人権教育の充実 ～自分を大切に、周りの人も大切に～＞

人権教育旬間プロジェクト（6～7月、11月）、いじめ根絶子ども会議、SOS教育、
防災安全教育（反射タスキ）、情報モラル教育の充実、「生徒理解」に基づく生徒指導

生徒の実態からの本校のよさと課題（R6年度 本校全校生徒アンケート調査より）※数値はR5→R6

本校のよさ

・人権集会や道徳の時間等で、いじめや人権について考えることができた。 **98%→99%**

・仲間を大切にし、思いやりのある言葉がけや行動ができた。 **96%→96%**

・「岡谷未来の時間」では、テーマや自分の課題の解決にむけて試行錯誤しながら取り組むことができた。 **91%→92%**

本校の課題

・学習問題に対して自分なりの考えをもち、意欲的に取り組むことができた。 **84%→87%**

・授業で「わかったこと」や「わからなかったこと」を自覚しながら取り組んだ。 **88%→86%**

・家庭学習の目的をもち、主体的に家庭学習に取り組むことができた。 **68%→69%**

目指す
教職員像

＜学校教育目標の具現に向けて、同一步調で力強く推進できるための教職員集団＞

・生徒理解が出发点 ・自身を省察し学び続ける ・チームで取り組む ・ワークライフバランスを大事にする

職場環境
の改善

- 働き方改革…澁刺と生徒と共に活動するため、生徒の学びの質を高めるために時間を生み出す。
- 分担を明確に、のり代を厚く…個々の役割を明確化すると共に助け合いを当たり前とする職場。

地域との連携

- ◎川岸コミュニティスクールの運営：
学校運営委員会（小中合同）
⇒安全部・健全育成部・学校支援部
- ◎地域にある組織との連携：
・学校評議員 ・区長会
・民生児童委員 ・同窓会 等

川岸学園の実現に向けて

- ◎川岸小職員との合同研修の充実
⇒小中学びの連携（4回）
⇒小中合同職員会の充実
- ◎川岸学園設立準備委員会との連携
⇒各部会への参加

家庭との連携

- ・学校評価、お便りの活用
- ・PTA活動

外部機関との連携

- ・市子ども総合相談センター
- ・医療機関 ・SSW 等

令和7年度 岡谷北部中学校 グランドデザイン

社会とよりよいかかわりながら幸せに生きている自分

校是 自主・和敬

岡谷子育て憲章

学校教育目標

思いやりをもって友と協働する生徒
自己決定する生徒
向上心をもって取り組む生徒

生徒会3本柱

思いやり
対話
清掃

彩(いろどり)～自分の色で描く未来のキャンバス～

自律し、自立していく

「キャリア形成」を意識した短期展望と長期展望をもてる教育活動を実践していく

なりたい自分

- 「やりたいこと」が明確になる。
- やりたいことに向けて活動していく見通しをもてる。
- 岡谷市で学ぶ良さを味わい、地域で活動する自分を意識できる（岡谷スタンダードカリキュラムによる学びと併せて）。
- 総合的な学習での地域での学びを通して、キャリア形成への展望をもてる。

「私たちはどう生きていくか？」の問いをもち、その解決を目指していく

「対話」を取り入れた、確かな学力の習得に向けた授業改善

- ・ 課題を見出し、解決に向けて考え、必要感をもって「対話」が成立する素材の教材化
- ・ 教科で目指す力の習得を通して、友とのかかわりを深めていける学習過程の実現
- ・ 「ねらい・めりはり・みとけ」を意識した授業づくり…「お・か・ほ・く」

主体的、対話的で深い学び

- ・ いきで働く知識・技能の習得と未知の状況に対応できる思考力・判断力・表現力の育成
- ・ 学びを人生に生かそうとする、学びに向かう力・人間性の涵養

いじめを許さない学校風土の醸成

- ・ いじめゼロ！～笑顔あふれる北中をめざして～
- ☆ 認めよう。一人一人の違い ☆ 尊重しよう、お互いのこと ☆ 掛け合おう温かい言葉

個別の支援体制

- ・ 一人ひとりの個性に応えるチーム支援体制
- ・ 合理的配慮とインクルーシブ教育の推進

地域との連携による学び

- ・ 地域に学ぶ講座制による総合的な学習の時間
- ・ 地域、行政との連携による防災学習
- ・ 岡谷スタンダードカリキュラム

職員研修

- ・ 子ども、保護者を巻き込んで教師が学ぶ研修会の開催
- ・ 職員、生徒が一体となって学びを生かしていく北中の風土づくり

令和7年度研究テーマ 「対話でつながる ～友と未来と地域と～」

- ・ すべての授業でユニバーサルデザイン化をさらに進め、一人ひとりの生徒が自分らしく学び、自らの生き方を他との関わりの中で考えていける学校づくりに取り組みます。
- ・ 一人ひとりの学びの状況を的確に把握し、それに対応した支援に取り組みます。→ 合理的配慮の実現
- ・ 地域の皆様の力をお借りしながら、生徒と共に活動に取り組めます。
- ・ 学年担任制の成果を全学年で生かし、学年でのつながり、学校全体のつながりを生徒、保護者、職員が感じ、生かしていきけるように取り組みます。
- ・ 必要に応じたICT機器の活用をすすめ、学びの個別最適化、協働する学びの実現を目指します。



学校教育目標

ひとりひとりが誠実を貫く

誠実

自分を大切にする→自ら決断し、責任を持ち、主体的に取り組める
 相手を大切にする→人や物事に対し 真心を持ち 偽りなく ひたむきである

目指す姿

【生徒】

- ・目標を持ち、実現に向け努力できる
- ・自分と相手を同じだけ大切にできる
- ・感謝の気持ちを言葉や行動で示せる
- ・人権意識が高く公平に対応できる

【教師】

- ・「全ての根幹は授業である」を強く意識
- ・自ら学び続け、授業改善に取り組める
- ・生徒に寄り添い、その子のよさを励ませる
- ・生徒や保護者や地域の方とともに汗を流せる

主体的・協働的で
力のつく学び

日々の授業の改善

- ・「ねらい」「めりはり」「見とどけ」を大切に、よくわかり、力のつく授業
- ・対話による自己の学びの深まりが実感できる授業づくり
- ・生徒の言葉をつないだ、授業のまとめ
- ・コミュニケーションツールとしての ICT の有効活用
- ・「学びたい」と心を動かすような教材づくり
- ・毎学期の授業評価と授業を見合うことを生かした授業改善

家庭学習の充実

- ・家庭学習計画と振り返りを充実させることによる、自己調整学習の力を育成
- ・自己分析に基づく家庭学習

認め・支え合い自己
肯定感を高める学び

南中プライドを育てる

- ・南部中の生徒であることにプライドを持てるような活動と所属感の育成

地域の一員としての自己理解

- ・地域の方から学ぶ、防災学習の充実
- ・地域の中で生き、生かされている自分であることへの理解。
- ・感謝の気持ちを行動で示し汗を流せる生徒の育成

生徒会活動の活性化

- ・結果よりも過程を重視。主体的な生徒会活動となるための支援
- ・南中三本柱を、生徒と職員が共に推進
- ・「いじめ根絶運動」「広島平和学習」など「命と心の教育」の充実、小中連携した活動と学び

個別最適で
個性を伸ばす学び

個に応じた支援の充実

- ・支援会議の充実と情報共有・方針を明確にした同歩調での指導
- ・ほぼ毎日個別面談の時間を確保「ともしび」・保健室・相談室等相談しやすい体制づくり
- ・学習の疑問点を教師や友人に聞ける向学の気風の醸成
- ・授業の UD 化の推進

主体的活動の充実

- ・主体性と責任感、仲間作りの力を育むかがやきタイムの実施
- ・定期テスト前・夏休みなどに希望者を募り教科相談を実施
- ・『岡谷市未来塾』『高校』と連携した個別学習支援
- ・総合的な学習の時間で自己選択したテーマの追究

生徒会の目指す方向

スローガン

SPARKLE

～一人ひとりの色が火花のように輝く生徒会～

一人ひとりが自分の色（個性）を発揮し、それを互いに認め合うことで全校が花火のように輝く生徒会

伝統の三本柱

挨拶・歌声・清掃
を極める

小中高と連携した学び



評価指標

(今年度指標←R6年度結果←R5年度結果)

- 学校が楽しい (91%←90.1%←85.5%)
- 授業では自分の考えを持ち、積極的に発表したり話し合ったりしている (76%←74.8%←68.6%)
- 学習内容が定着するように、家庭学習に取り組んでいる (75%←71.7%←66.5%)
- 生徒会活動に自分から進んで取り組んでいる (96%←95.2%←90.9%)



学校教育目標 「未来を拓く」 自立・創造・尊重

校是「自分の未来を拓く生徒、生徒の未来を拓く教職員、地域の未来を拓く学校をめざす」

目指す生徒の姿

自立

自分で考え決断し、
自分の生き方を選ぶ

創造

創意工夫し、新たな
価値を生み出す

尊重

違いを理解し、相手の
気持ちと自分の気持ちを
尊重する

＜今年度の学校経営の重点＞

- ① 生徒も教師も生涯「学び続ける」姿勢を育む 『学ぶことが楽しい・・・』
- ② キャリア教育と人権教育を柱とした学校づくり
- ③ 地域とともにある学校づくり

校長のねがい「明日も来たいと思える学校にしたい」

今年度の学校経営の重点にせまるための取組

取組1 黙想から始める清掃

黙想の意味や目的を明確にし、清掃開始の黙想を大切にすることで「無言」「時間いっぱい」「気づき」の清掃の充実につなげる。

取組2 日常の活動を大切に する生徒会

特別活動を精選、生徒集会の充実を図り、生徒自身が必要感をもって取り組める日常の活動にする。

取組3 歌声が響き合う校舎

文化委員会を中心に、年間を見通した練習を計画し、クラス・学年・全校で歌う機会を充実して、歌声を作っていく。

取組4 友と学び合い、主体的 に追求していく生徒

校内研修の充実を図り、考え・思い・技能がより深まるための学び合いを大切にした授業の実践をしていく。

取組5 心と心をつなぐ挨拶

生徒会・支部生徒会・部活動で、挨拶の意味や目的を明確にすることで「あいさつ活動」の充実を図る。

取組6 誰もが安心してい られる学校

人権尊重委員会の機能の充実を図り、より効果的な人権活動にする。

取組7 総合的な学習の時間の充実 ～地域や社会とのつながりを実感できる授業の創造～

SDGsの視点から学校生活や地域を見つめ直し、社会の一員として考え、行動する力を養う。
職場見学、職場体験、岡谷市中学生メッセ(東中メッセ)を通して職業観を形成したり、友や地域との協働から自己有用感を高めたりしながら、キャリアパスポートで自己理解を深める。

「東中の伝統」 ＜学校生活の素地づくりのために励行している重点10項目＞

- ①挨拶 ②清掃 ③合唱 ④黙想 ⑤時間厳守 ⑥読書
- ⑦下駄箱昇降口整頓 ⑧服装・身なり ⑨無言入退場 ⑩資源回収・ゴミ拾い

＜評価指標＞

- 「学校に行くのは楽しいと思いますか」80%以上、90%をめざす
「自分には、よいところがあると思いますか」70%以上、80%をめざす
「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」70%以上、80%をめざす
「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」70%以上、80%をめざす

＜安全で安心な東中で有り続けるために＞

- ① 毎学期に教育相談の時間を設け、問題の早期発見・早期解決を図る。
- ② 非違行為はしない、させない、許さない。

⑪ 学校給食実施状況

(令和7年5月1日現在)

	給食人員		給食施設 (㎡)					給食設備										給食 開始 年月日	備 考						
	児童・生徒数	職員数	調理室	倉庫	戸	控室	パン・牛乳置場	通路その他	計	消毒保管庫	食器洗浄機	野菜裁断機	球根皮剥機	高速度ミキサー	冷蔵庫	冷凍庫	牛乳保冷库			給湯設備	炊飯器	ガス回転釜	焼物機		
小川岸神明小井川岡谷田中湊長地上の原中学校	285	36	321	150.0	16.0	19.0	12.0	15.0	127.0	339	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	S28.4～ S42.4～ S26.4～ S26.2～ S26.4～ S28.11～ S48.4～ R7.2～ 自校炊飯 開始	
	300	40	340	105.9	8.5	16.5	11.4	7.1	67.6	217	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○		
	266	36	302	72.6	7.8	3.8	9.4	4.0	49.4	147	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○		
	336	39	375	95.6	8.0	7.5	12.0	6.4	72.5	202	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○		
	82	22	104	60.8	8.1	6.5	4.9	1.7	11.0	93	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○		
中西部北都南部東部計	504	57	561	155.2	15.4	20.0	11.8	18.3	63.3	284	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○		
	160	24	184	88.8	11.5	7.1	13.8	3.8	55.0	180	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○		
	167	34	201	139.4	9.4	10.2	16.1	5.4	149.5	330	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○		
	251	37	288	116.1	13.0	15.3	14.8	11.2	85.6	256	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○		
	202	36	238	119.4	11.7	7.5	18.6	3.4	79.4	240	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○		
401	51	452	115.2	12.9	18.1	18.7	2.0	55.1	222	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○		
2,954	412	3,366	1219.0	122.3	131.5	143.5	78.3	815.4	2,510																

◎給食費 ※給食日数が各校違うため、月額は平均値を掲載

◎米飯給食

小学校 (完全給食)				中学校 (完全給食)			
年度	月額	単価 (一食分)		年度	月額	一食分の単価	
		年度	単価			年度	単価
H27	4,869.6円	H27年度 ～ R4年度	290円	H27	5,561.9円	H27年度 ～ R4年度	330円
H28	4,888.6円			H28	5,500.0円		
H29	4,864.4円			H29	5,493.1円		
H30	4,861.0円			H30	5,534.4円		
R 1	4,829.9円			R 1	5,465.6円		
R 2	4,826.4円	R5年度	310円	R 2	5,472.5円	R5年度	355円
R 3	4,788.5円			R 3	5,376.3円		
R 4	4,795.4円			R 4	5,431.3円		
R 5	5,174.0円	R6年度	320円	R 5	5,901.9円	R6年度	330円
R 6	5,337.1円	R7年度	330円	R 6	6,336.5円	R7年度	330円
R 7	5,333.3円		260円	R 7	6,320.4円		310円

令和5年度以降、物価高騰に伴う給食費の値上がり分を公費で負担し、保護者の負担額は令和4年度までの単価に据え置き。
さらに、令和7年度より子育て世帯への経済的支援の一層の充実を図るため、給食費の約2割を公費負担し、保護者負担を小学校260円、中学校310円とした。

⑫ 学校医・学校歯科医・学校薬剤師

令和7年4月1日現在

	総合管理医・保健管理医 (内科医)	内 科・外 科	耳鼻咽喉科	眼 科	歯 科		薬剤師
川岸小	薩摩林 恭子 (H18.4.1)	木下 真理子 (H26.9.1)	梅垣 油里 (H7.4.1)	春山 洋 (H25.4.1)	大滝 祐吉 (S61.4.1)	百瀬 恵治 (H28.4.1)	日岐 さゆり (R4.4.1)
神明小	今井 清泰 (H14.4.1)	今村 均 (H25.4.1)	梅垣 油里 (H10.4.1)	春山 洋 (H16.4.1)	笠原 恒久 (H6.4.1)	三井 義久 (S58.4.1)	杉浦 賢史 (R6.4.1)
小井川小	小野 博正 (H16.4.1)	朱 尚孝 (H24.4.1)	小口 直彦 (H11.4.1)	林 秀行 (H27.4.1)	名和 孝行 (H25.4.1)	笠原 初雄 (S58.4.1)	小口 裕史 (S62.4.1)
岡谷田中小	向山 茂雄 (H28.4.1)	今井 智彦 (H27.9.1)	梅垣 油里 (H10.4.1)	林 秀行 (H27.4.1)	前川 雅美 (S58.4.1)	林 三雄 (H28.4.1)	高橋 克典 (H20.4.1)
湊小	花岡 淳一 (R2.4.1)		小口 直彦 (H18.4.1)	林 秀行 (H27.4.1)	藤岡 泰正 (S59.4.1)		岡村 淳也 (H28.4.1)
長地小	林 晋一郎 (H17.4.1)	小野 博正 (H29.4.1)	梅垣 油里 (H20.4.1)	林 秀行 (H27.4.1)	太田 宅哉 (H27.4.1)	牛山 尚也 (H6.4.1)	御子柴 美智子 (H23.4.1)
上の原小	細川 浩一 (R5.4.1)	米山 大 (H23.4.1)	小口 直彦 (H20.4.1)	林 秀行 (H27.4.1)	早出 啓子 (H23.4.1)	林 潤太郎 (H16.4.1)	池波 寛 (H18.4.1)
岡谷西部中	酒井 宏 (H19.4.1)	米山 大 (H27.1.1)	小口 直彦 (H19.4.1)	春山 洋 (H25.4.1)	藤森 恒美 (H6.4.1)	浦野 順 (H11.4.1)	横内 功晴 (H25.6.1)
岡谷北部中	稲村 いづみ (H18.4.1)	片倉 智 (H18.4.1)	小口 直彦 (H18.4.1)	林 秀行 (H27.4.1)	小口 久雄 (S58.4.1)	小口 順司 (H18.4.1)	花岡 孝次 (S54.4.1)
岡谷南部中	笠原 忠夫 (S58.4.1)	秋田 眞吾 (R4.4.1)	梅垣 油里 (H7.4.1)	林 秀行 (H27.4.1)	宮坂 伸 (S57.4.1)	山田 元彦 (S58.4.1)	丸田 哲 (H24.4.1)
岡谷東部中	山崎 正彦 (H8.4.1)	牛山 千冬 (R7.4.1)	小口 直彦 (H19.4.1)	林 秀行 (H27.4.1)	太田 宅哉 (H2.4.1)	林 隆廣 (S58.4.1)	大澤 美香 (R5.4.1)

※()内は委嘱年月日

- 岡谷市医師会
- 岡谷下諏訪歯科医師会

岡谷市中央町二丁目5番22号
岡谷市幸町4番10号

0266-22-3870
0266-23-8320

(3) 学校施設

① 学校建物保有面積

(令和7年5月1日現在)

区 分 学校名		建 物 保 有 面 積							
		校舎等				屋内運動場			
		木造	非木造	計	一人当り 面積	第 1	第 2	計	一人当り 面積
小学校	川 岸	86	8,515	8,601	30.2	905	328	1,233	4.3
	神 明	195	6,175	6,370	21.2	744	324	1,068	3.6
	小井川	132	6,158	6,290	23.6	278	836	1,114	4.2
	岡谷田中	148	6,135	6,283	18.7	363	1,180	1,543	4.6
	湊	80	3,301	3,381	41.2	873		873	10.6
	長 地	115	8,170	8,285	16.4	1,072	294	1,366	2.7
	上の原	10	6,389	6,399	40.0	805		805	5.0
	小計	766	44,843	45,609	23.6	5,040	2,962	8,002	4.1
中学校	西 部	233	6,464	6,697	40.1	1,881	640	2,521	15.1
	北 部	209	7,806	8,015	31.9	2,390		2,390	9.5
	南 部	0	4,897	4,897	24.2	2,401		2,401	11.9
	東 部	2,196	6,340	8,536	21.3	897	522	1,419	3.5
	小計	2,638	25,507	28,145	27.6	7,569	1,162	8,731	8.6
合計		3,404	70,350	73,754	25.0	12,609	4,124	16,733	5.7

② 学校敷地保有面積

(令和7年5月1日現在)

		校地 総面積	校地内訳			借用地	校地一人当り 面積
			校舎敷地	屋外運動場	その他実 験実習地		
小学校	川 岸	17,753	11,003	6,750			62.3
	神 明	22,161	11,080	10,481	600		73.9
	小井川	15,802	7,770	7,328	705		59.4
	岡谷田中	18,905	9,019	9,200	686	71	56.3
	湊	19,490	10,901	8,589			237.7
	長 地	25,026	13,111	11,325	590		49.7
	上の原	24,925	15,735	9,190			155.8
	小計	144,062	78,619	62,863	2,581	71	74.5
中学校	西 部	20,568	11,525	9,043			123.2
	北 部	27,866	17,422	10,248	196		111.0
	南 部	21,479	9,185	12,294			106.3
	東 部	29,414	15,308	13,521	585		73.4
	小計	99,327	53,440	45,106	781		97.3
合計		243,389	132,059	107,969	3,362	71	82.4

③ 学校建物棟別保有面積(主要棟)

学校名		校 舎 名	建築年	構造階	保有面積㎡	合計面積㎡	備 考
小 学 校	川岸小学校	管理教室棟	S54	R3	2,000	9,431	H21耐震改修
		特別教室棟	S56	R2	1,903		
		教室棟中	S55	R3	2,252		H18耐震改修
		教室棟西	S55	R2	1,704		H20耐震改修
		第一体育館	S56	S1	905		H18耐震改修
		第二体育館	S44	S1	328		H18耐震改修
		給食室	S54	R1	339		
	神明小学校	1棟教室棟	S42	S1	821	6,675	H12大規模改修
		2棟教室棟	S42	R2	2,073		H13大規模改修
		3棟教室棟東	S41	R3	1,962		H24耐震・大規模改修
		3棟教室棟西	S51	R3	534		H24大規模改修
		第一体育館	S43	S1	744		H18耐震改修
		第二体育館	S42	W1	324		
		給食室	S42	S1	217		S53増築H12大規模改修
	小井川小学校	教室棟	S45	R4	3,903	6,844	H16耐震改修
		管理教室棟	S46	R2	1,827		H16耐震改修
		西体育館	S37	S1	836		H17耐震改修
		東体育館	S7	W1	278		
	岡谷田中小学校	特別教室棟	S54	R3	1,920	7,697	H24耐震改修
		普通教室棟南	S60	R3	1,727		H24大規模改修H27増改築
		普通教室棟北	S59	R3	2,181		H24大規模改修R5増設工事
		大体育館	S62	R2	1,180		
		小体育館	S60	R1	363		
		給食室	S50	S1	202		H24大規模改修
		学童クラブ棟	H27	W1	91		
		エレベーター棟	R5	S3	33		R5新設
	湊小学校	普通教室棟	S48	R2	1,822	3,885	
		特別教室棟	S48	R2	937		
		昇降口棟	S48	R1	253		H21耐震改修
		体育館	S48	S1	873		
	長地小学校	管理教室棟	S58	R2	1,937	8,755	H23大規模改修
		教室棟南	S57	R2	1,590		H23大規模改修
		教室棟中東	S55	R3	1,825		H23大規模改修
		教室棟中西	S46	R3	1,240		H23耐震改修
		特別教室棟	S42	S2	513		H17耐震改修
		小体育館	S57	S1	294		
		大体育館	S58	R2	1,072		
		給食室	S55	R1	284		
	上の原小学校	普通教室棟南	S48	R2	966	6,084	H18災害復旧改修
		普通教室棟中	S48	R1	473		H18災害復旧改修
		普通教室棟北	S51	R3	1,571		
		特別教室棟南	S48	R1	257		
		特別教室棟中	S48	R1	261		
		特別教室棟北	S49	R2	599		
		昇降口棟	S48	R1	493		
		大体育館	S48	S1	805		H18災害復旧改修
中 学 校	西部中学校	給食室昇降口棟	S48	R1	659	9,411	
		管理教室棟	H28	R3	2,219		H28耐震改築
		昇降口棟	H3	R3	1,984		
		特別教室棟	S62	R3	2,687		
		第一体育館	S63	R3	1,881		
	北部中学校	第二体育館	H29	S1	640	9,690	H29耐震改築
		1棟普通教室棟	H17	R2	1,649		
		2棟特別教室棟	S60	R1	495		
		2棟普通教室棟	S57	R3	1,806		
		3棟特別教室棟	S60	R3	1,171		
		管理教室棟	S59	R3	1,923		
		体育館	S61	R2	2,390		武道場を含む
	南部中学校	給食室	S57	R1	256	7,781	
		管理教室棟	H1	R4	4,002		
		給食室棟	S63	R2	580		
		北校舎	H19	S2	798		H19耐震改築
	東部中学校	体育館	H5	R2	2,401	8,090	武道場を含む
		1棟普通教室棟東	S39	R3	2,015		R3管理教室棟大規模改修
		1棟普通教室棟西	S50	R3	917		R3管理教室棟大規模改修
		2棟普通特別教室棟	S58	R3	2,932		
		特別教室棟	H22	W1	427		
		昇降口棟	S50	S1	80		H22耐震改築
		第一体育館	S40	S1	897		R3管理教室棟大規模改修
		第二体育館	S47	S1	522		H16耐震改修
		給食室	S58	R1	222		H18耐震改修
		中間教室	H22	S1	37		
		エレベーター棟	R3	S3	41		H22新設 R3新設

④ 学校水泳プール

学 校 名		建 設 年 月 (改修年月)	水 槽	浄 化 槽 (改修年月)	附 属 設 備
小 学 校	川 岸	S44. 7 (H16. 7)	25m×10m× $\frac{1.0}{1.2}$ m 5 コース (H17. 6) 15m×5m×0. 7m	砂ろ過式 (H25. 6)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗眼台
	神 明	S42. 6 (H16. 7)	25m×10m× $\frac{1.0}{1.2}$ m 6 コース (H16. 7) 15m×5m×0. 7m	砂ろ過式 (H16. 7)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗眼台
	小 井 川	S44. 7 (S63. 6)	25m×10m× $\frac{1.0}{1.2}$ m 5 コース (H18. 6) 15m×5m×0. 7m	砂ろ過式 (H23. 6)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗眼台
	岡谷田中	S43. 6 (S63. 6)	25m×10m× $\frac{1.0}{1.2}$ m 5 コース (H19. 6) 10m×7. 5m×0. 7m	砂ろ過式 (H5. 6)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗眼台、消毒槽
	湊	S43. 6 (H 元. 6)	25m×10m× $\frac{1.0}{1.2}$ m 5 コース (H18. 6) 15m×5m×0. 7m	砂ろ過式 (H6. 6)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗眼台
	長 地	S42. 7 (S61. 6) (H16. 7)	25m×10m× $\frac{1.0}{1.2}$ m 5 コース (H16. 7) 15m×5m×0. 7m	砂ろ過式 (H4. 6)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗眼台、消毒槽
	上 の 原	S48. 7 (H 元. 6)	25m×10m× $\frac{1.0}{1.2}$ m 5 コース (H19. 6) 15m×5m×0. 7m	砂ろ過式 (H19. 3)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗眼台、消毒槽
中 学 校	西 部	H29. 3	25m×11. 0m× $\frac{1.1}{1.3}$ m 5 コース	砂ろ過式 (H29. 3)	機械室、器具庫、シャワー、 洗眼台
	北 部	S38. 7 (H4. 5)	25m×13. 6m× $\frac{1.2}{1.2}$ m 7 コース	砂ろ過式 (H14. 5)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗眼台、消毒槽 (R5～ 使用休止)
	南 部	S38. 7 (H13. 7)	25m×13. 6m× $\frac{1.2}{1.2}$ m 6 コース	砂ろ過式 (H25. 6)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗眼台
	東 部	S42. 6 (H9. 12)	25m×13. 6m× $\frac{1.0}{1.2}$ m 6 コース	砂ろ過式 (H9. 7)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗眼台、消毒槽

⑤ 小中学校施設等主要整備状況（平成29年度～令和6年度）

年度 学校名										
	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6		
小 学 校	川 岸	体育館放送機器修繕工事 受水槽修繕工事 転落防止柵撤去新設工事	エアコン設置工事、特別教室棟外壁・窓枠取替工事、プールろ過機修繕工事、地下タンク廃止工事、給食室ボイラー入替・屋外タンク設置工事 エアコン設置工事	防火設備改修工事・電話交換機取替工事・トイレ洋式化工事	プランコ改修工事 職員女子トイレ修繕工事					
	神 明		エアコン設置工事	防火設備改修工事・プール防水補修工事・2階トイレ改修工事				体育館屋根修繕工事		
	小 井 川	保健室・校長室・事務室FF式温風暖房機取替工事	エアコン設置工事、門柱補修工事、防犯カメラ設置工事、給食室トイレ改修工事 エアコン設置工事	防火設備改修工事・給水管設備改修工事・受水槽廻り給水管改修工事 防火設備改修工事	バックネット建替工事		昇降口屋根等防水補修工事			
	岡 谷 田 中	昇降口屋根等修繕工事					バリアフリー改修工事			
	湊	給食室グリッド集器破損修繕工事	エアコン設置工事、更衣室改修工事、高窓カバー外修繕工事							
中 学 校	長 地	プール修繕工事 給食室トイレ改修工事	エアコン設置工事、渡り廊下ドア交換工事、プールろ過機修繕工事	防火設備改修工事・プール底補修工事・北庭埋設ガス管補修工事	大体育館西側外壁漏水防止工事、給食室照明修繕工事、給食室内ガス管修繕工事、灯油管修繕工事、トイレ洋式化工事	プールろ過機交換工事				
	上 の 原	給食室給湯器取替工事、給食室トイレ改修工事、受水槽ポンプ修繕工事	エアコン設置工事	配膳室給湯器排気ダクト取替工事		埋設部ガス修繕工事		昇降口前舗装改修工事		
	西 部	給食室給湯器入替工事 受水槽内部補強材塗装修繕工事、雨水排水改修工事	エアコン設置工事、西校舎2階流し台電気温水器取替工事、体育館北側窓改修工事	防火設備改修工事・FF式石油暖房機入換工事						
	北 部	給食室ボイラー循環ポンプ修繕工事、排水路改修工事、図書室温風暖房機取替工事	エアコン設置工事、排水路改修工事、電話交換機取替工事、図書室単体照明修繕工事	防火設備改修工事・図書館連結照明修繕工事・給食室床改修工事	体育館南側屋根・壁漏水補修工事		トイレ洋式化工事			
	南 部	図書室等カーテン設置工事	エアコン設置工事、プール防水修繕工事	防火設備改修工事		トイレ洋式化工事		体育館屋根等補修工事		
	東 部	第1理科室ガス管入替	エアコン設置工事	防火設備改修工事・第3理科室流し台給水管修繕工事・中学校舎2F男女トイレ手洗い改修設備工事	グラウンド内ネットフェンス改修工事、管理教室棟大規模改修工事			トイレ洋式化工事		

⑥ 小中学校コンピュータ整備状況

(令和7年4月1日)

単位：台数

学校名	コンピュータ室 教員用	コンピュータ室 児童用	図書館	職員室 (事務室等)	職員室 (校務共用)	職員室 児童・先生 兼用	GIGAスクール 学習者用端末
メーカー	EPSON	EPSON	EPSON	EPSON	EPSON	富士通	Lenovo
機種	タワー	デスクトップ	ノート	ノート等	タワー	タブレット	タブレット
整備年度	令和元年度						令和2年度
整備方法	リース						購 入
川 岸 小	2	35	1	35	2	44	339
神 明 小	2	35	1	36	2	44	384
小井川小	2	35	1	33	2	44	311
岡谷田中小	2	35	1	33	2	44	369
湊 小	2	25	1	22	2	30	104
長 地 小	2	36	2	43	2	49	540
上の原小	2	36	1	24	2	43	231
小学校計	14	237	8	226	14	298	2,278
西部中	2	36	1	32	2	45	204
北部中	2	36	1	41	2	47	346
南部中	2	36	1	33	2	45	250
東部中	2	36	1	52	2	49	478
中学校計	8	144	4	158	8	186	1,278
小中学校 合 計	22	381	12	384	22	484	3,556

(4) 専門委員会等

① 岡谷市就学支援委員会

(担当：子ども教育相談センター)

1 内 容

岡谷市教育委員会の諮問に応じ、次に掲げる事項について調査審議する。

- (1) 就学教育相談及び支援に関すること。
- (2) 就学先及び就学義務猶予等の判断に関すること。
- (3) 就学後の教育支援に関すること。

また、前項に規定するもののほか、児童生徒等の就学及び教育支援に関する事項について、教育委員会に対し、意見を述べることができる。

② 岡谷市いじめ問題対策連絡協議会

(担当：子ども教育相談センター)

1 内 容

いじめの防止等に関係する機関及び団体相互の連絡調整を行い、当該機関及び団体の連携の推進のために必要な事項を協議する。

2 組 織

協議会は、委員15人以内をもって組織し、いじめの防止等に関係する行政機関の職員、団体の代表者その他岡谷市教育委員会が必要と認める者のうちから、教育委員会が委嘱し又は任命する。

【委 員】児童相談所、警察署、人権擁護委員、民生児童委員、市PTA代表、
臨床心理士、スクールソーシャルワーカー、
岡谷市子ども教育支援チーム「いじめ・人権部会」チーム員

③ 岡谷市いじめ問題対策調査委員会

(担当：子ども教育相談センター)

1 内 容

いじめの防止等の対策を実効的に行うための調査研究や重大事態に係る調査を行う。

2 組 織

委員会は、委員5人以内をもって組織し、学識経験者その他教育委員会が必要と認める者のうちから教育委員会が委嘱する。

【委 員】精神科医師、弁護士、臨床心理士、社会福祉士、精神保健福祉士

委員会が行う重大事態等における調査体制の強化のため、調査等をサポートする「いじめ問題調査員」を必要に応じて設置する。

④ 岡谷市子ども教育支援チーム

(担当：子ども教育相談センター)

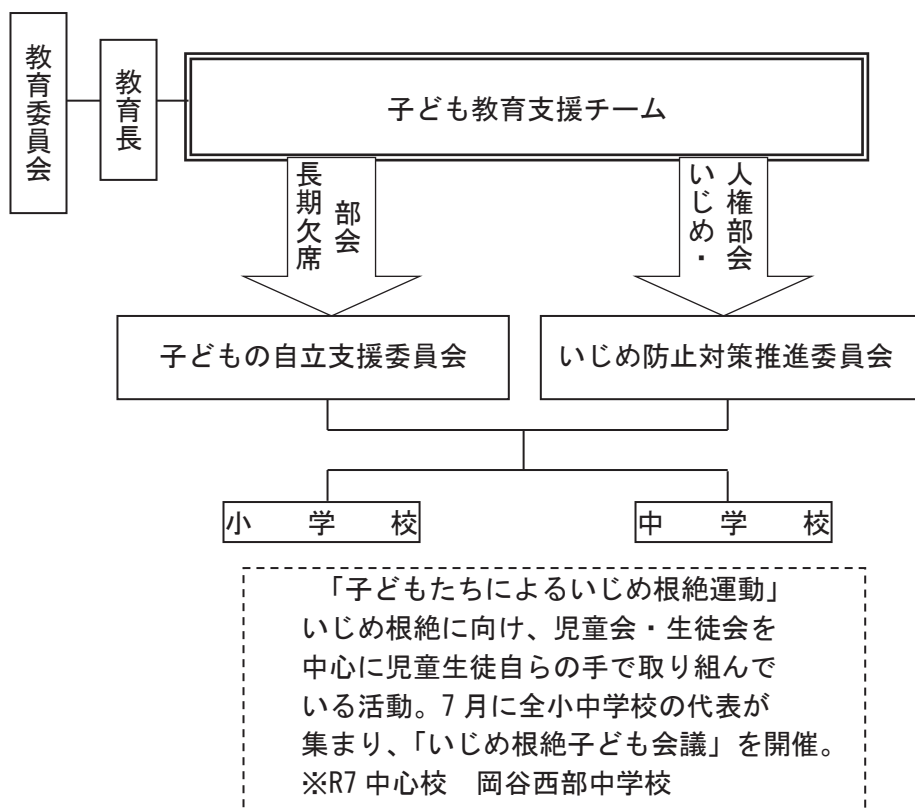
1 目 的

長期欠席及びいじめ人権問題を含む児童生徒の教育課題を解決するため、調査研究や支援を行う。

2 内 容

- (1) 長期欠席児童生徒の支援に関すること
- (2) いじめ問題への対応に関すること
- (3) 学校諸問題への対応に関すること
- (4) その他児童生徒の教育課題に対する調査研究及び支援に関すること

3 組織図



⑤ 岡谷市小中学校子どもの自立支援委員会

(担当：子ども教育相談センター)

1 内 容

- (1) 各校における委員会計画や活動状況の把握
- (2) 学校現場の視点からの教育課題の検証、研修
- (3) 子ども教育支援チームとの連携、実践
- (4) その他、長期欠席児童生徒に係る課題、人間関係力や自己肯定感の高揚等、子どもの自立支援に関すること（Q-U、アセス、ソーシャルスキルトレーニング、NP プログラムなど）

⑥ 岡谷市いじめ防止対策推進委員会

(担当：子ども教育相談センター)

1 委員会の趣旨

小中連携の『いじめ根絶子ども会議』を中核とし、市内の全ての学校で児童生徒活動を継続的に行い、「いじめ根絶」に向けての意識を高める。

また、岡谷市子ども教育支援チームのいじめ・人権部会との連携のもと、本市における基本方針を受け、学校現場の視点から検証し、各校における実践に繋げる。

⑦ 岡谷市小中学校生徒指導推進委員会

(担当：子ども教育相談センター)

1 目 的

岡谷市の小学校、中学校、高等学校、家庭、地域社会が密接な連携を取りながら、相互に協力し合い、生徒指導等についての対策の充実と徹底を図り、児童生徒の健全育成に資する。

2 内 容

- (1) 各学校の生徒指導の実態や課題に即した対応と推進、連絡調整、情報交換
- (2) 長期休業中（夏休み・冬休み・春休み）における生徒指導の申し合わせ事項の検討及びきまりの作成と実践

- (3) 「豊かな心を育てるために」の実践的な活用についての啓発
- (4) 校外指導活動（地域活動）の推進
- (5) 生徒指導研修に関する活動（年１回）
- (6) 児童生徒の健全育成に関する支援と協力
- (7) 生徒指導関係機関や関係諸団体（警察、民生児童委員、保護司等）、ＰＴＡ、校長会、高等学校との連携

⑧ 岡谷市小中学校情報教育委員会

（担当：学校教育）

１ 内 容

- ・「個別最適化された学び」「協働的な学び」を視点として各校の研究体制と連携しながら ICT 活用を進める。
- ・岡谷市情報モラル年間指導計画に基づき情報モラルについての学習を市内全学校で実施する。
- ・校務の効率化に向けた支援システムの充実と具体的ニーズのとりまとめを行い共有する。
- ・現状での課題の洗い出しとより有効な利用方法について研究する。

⑨ 岡谷市学校図書館教育推進委員会

（担当：教育企画）

１ 内 容

読書センターとして、また、学習・情報センターとして機能する学校図書館づくりに積極的に取り組むことにより、学校及び家庭における児童生徒の読書活動の充実を図り「豊かな心」と「自ら学ぶ力」の育成に資する。

- ・児童生徒の読書活動の幅を広げ、読書体験を深めるための活動
- ・読書・学習・情報センターとしての学校図書館づくり
- ・学校図書館でのコンピューター活用にかかわる課題等の検討
- ・読書指導及び学校図書館運営に関する研修・情報交換
- ・岡谷市子ども読書活動推進会議など読書活動に係わる各種団体との連携

⑩ 岡谷市学力向上推進委員会

（担当：学校教育）

１ 内 容

- ・知識や技能の活用という分野を中心に、学力向上に向けた各学校の取組状況を把握し、教育課題や学習指導の課題を明確化し改善する
- ・分析結果等を基に本年度の学力向上・授業改善の具体的な取組計画を作成する
- ・調査結果に基づいた各校の分析結果から、市全体の分析及び改善の視点を探る

⑪ 岡谷市外国語活動推進委員会

（担当：学校教育）

１ 内 容

- ・平成２３年度より完全実施された小学校外国語活動の授業が各学校で円滑に推進できるよう支援活動を行う。
- ・令和２年度より完全実施された小学校３・４年生の外国語活動及び５・６年生の外国語科の授業が各学校で円滑に推進できるよう支援活動を行う。

⑫ おかや絹結プログラム推進委員会

（担当：学びの創生・連携支援室）

１ 目 的

幼保小接続期連携を目的とした、「おかや絹結プログラム」の実践を推進する。

２ 組 織

（小学校関係）校長会代表、教頭会代表、１学年担任代表、特別支援教育コーディネーター
（保育園・幼稚園関係）公立保育園より各１名

(5) 学校評議員

1 内 容

評議員は、学校が保護者や地域住民等の信頼に応え、家庭や地域と連携協力し一体となって子どもの健やかな成長を図る観点から、校長の求めに応じて学校運営に関し意見を述べ、地域に関わった特色ある学校づくりの推進に資する。

- ・保護者や地域住民等の意向を把握・反映すること
- ・保護者や地域住民等の協力を得ること
- ・学校運営の状況等を周知するなど学校としての説明責任を果たしていくこと

(6) 岡谷市通学路安全対策会議

1 会議について

市内小中学校の通学路の安全確保に向け、安全対策に係る一連の取り組みを定めた「岡谷市通学路交通安全プログラム」に基づき、関係機関が連携し、継続的な推進を図ることを目的としている。

2 会議の任務

会議は、岡谷市通学路交通安全プログラムの実現に向け、市内小中学校の通学路の安全対策の総合的な検討、協議及び調整を行う。

＜具体的な内容＞

- ・危険箇所の抽出、合同点検の実施
- ・安全対策の検討
- ・安全対策の実施
- ・P D C Aによる改善、充実

3 会議の組織

会議は、教育総務課長を会長に委員25名以内で組織し、教育委員会が任命又は委嘱する。

＜メンバー＞

【会 長】教育総務課長

【副 会 長】委員から互選（校長会長）

【委 員】岡谷市小中学校長会会長

岡谷市小中学校教頭会長

岡谷市小中学校生徒指導推進委員会委員長

保護者代表（P T A連合会会長）

地域住民代表（関係区長）

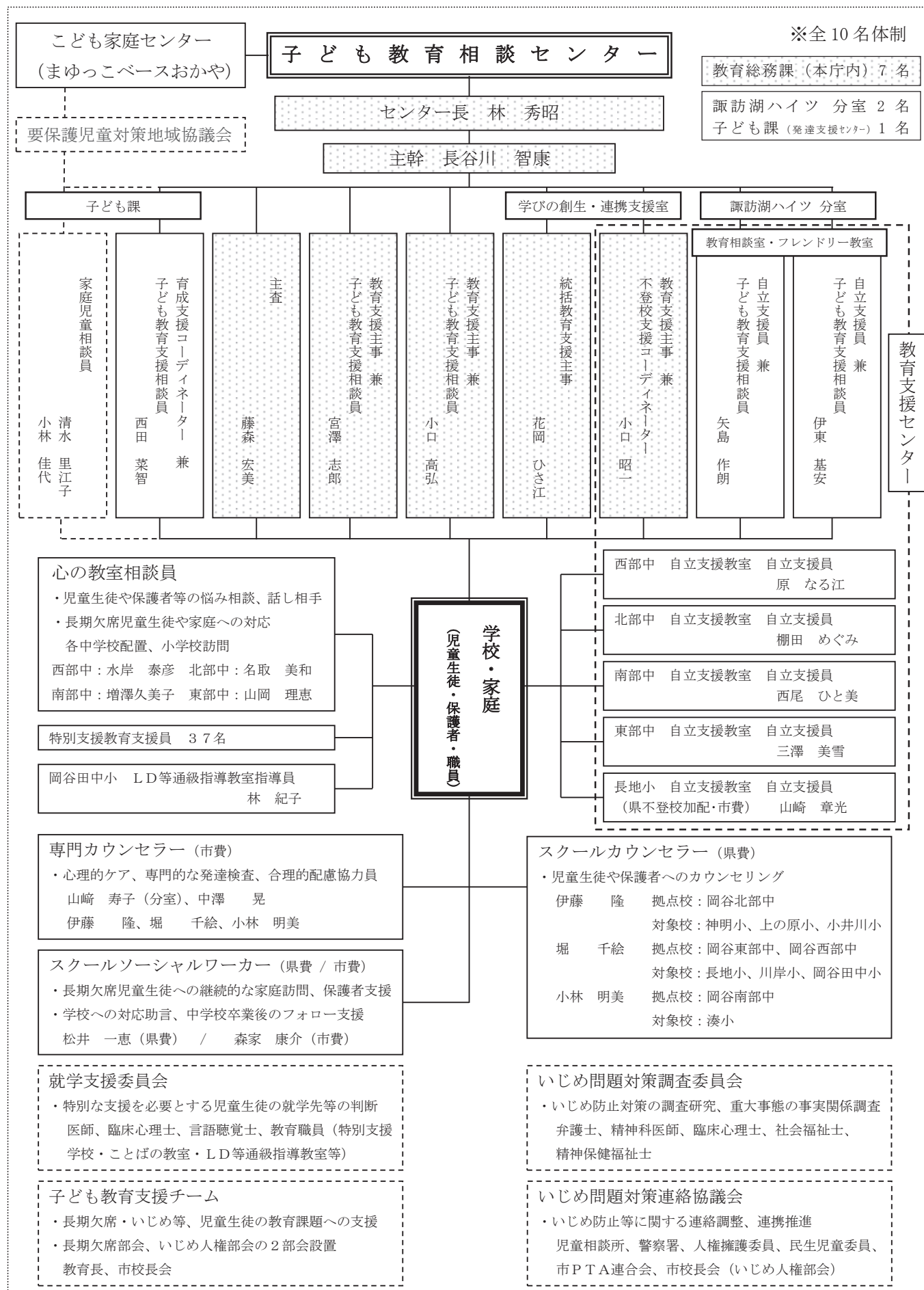
道路管理者（国道事務所、県建設事務所、市土木課）

岡谷警察署

その他市及び市教育委員会の職員

【事 務 局】教育総務課

(7) 子ども教育相談センター体系図（令和7年度）



① 子ども教育相談センター

子どもたちが学び、成長する過程の中で生じる様々な困難、課題等に対して、各機関と連携し個々の状況に応じた相談及び支援を行う。

センター業務の一環として、諏訪湖ハイツの分室にフレンドリー教室、各中学校と長地小学校に自立支援教室を設置するほか、カウンセリング体制の充実を図り、連携支援に努める。

(1) 場 所 岡谷市役所 2 階 教育総務課内

(2) 開設日時 土・日・祝祭日を除いた 8:30～17:00

(3) 業務内容

- ・ 教育相談及び教育支援に関すること
- ・ 就学教育相談及び就学支援委員会に関すること
- ・ 発達及び特別支援教育に関すること
- ・ いじめ及び長期欠席に関すること
- ・ 学校、家庭及び関係機関との連携に関すること
- ・ 岡谷市いじめ問題対策連絡協議会に関すること
- ・ 岡谷市いじめ問題対策調査委員会に関すること

(4) 令和6年度 相談等の対応数

	相談	報告連絡	支援会議等	合計
延べ件数	1,270	539	214	2,023 (1,893)
実人数	438	172	36	646 (655)

括弧内は前年度数値

(5) 令和6年度 相談対象者（延べ件数）

乳幼児 園児	小学生	中学生	高校生	一般	合計
155	595	439	76	5	1,270

(6) 令和6年度 相談内容の内訳（延べ件数）

長期 欠席	就学 相談	障がい 等	家庭 環境	子育て 全般	園・学校 生活	問題 行動	園・校 対応	虐待	い じ め	そ の 他	合計
451	400	118	108	81	37	22	20	4	3	26	1,270

② 分室

教職員や保護者、子どもが抱えている悩みや心配ごとに対して幅広く積極的に相談を受け、ともに考え助言・指導を行う。

子ども教育相談センターの分室として、本庁と連携した相談支援体制を心がける。

(1) 場 所 岡谷市長地権現町 4-11-50 おかや総合福祉センター（諏訪湖ハイツ）内

(2) 業務内容

- ・ 通常相談業務 土・日・祝祭日を除いた 8:30～16:30
- ・ 保育園・幼稚園・学校への訪問、連携支援
- ・ いじめ、長期欠席、生徒指導等の問題に関する調査研究、資料収集
- ・ 専門カウンセラーによる教育相談

毎月 2 回 一人あたり 50 分（予約制）

③ フレンドリー教室・自立支援教室（旧中間教室）

専任の自立支援員が、様々な事情により学校への登校に困難さを抱える児童生徒に対し、社会的自立や登校への支援等を行う。

(1) 対象者 岡谷市在住の小中学生

(2) 場 所 フレンドリー教室…岡谷市長地権現町 4-11-50

おかや総合福祉センター(諏訪湖ハイツ)内

自立支援教室…市内 4 中学校、長地小学校

(3) 開設日時 土・日・祝祭日を除いた 9:00～15:00（各学校と相談）

(4) 年間開設日数 小中学校の登校日に準ずる

(5) 令和 6 年度 通室生の状況（フレンドリー教室・中間教室の総計）

	小学生	中学生	合計
正式通室		31	31
試験通室	3	13	16

④ 心の教室

生徒が悩み等を気軽に話せ、ストレスを和らげることのできる第三者的な存在となり得る相談員を中学校全校に配置し、生徒の悩み相談や自主的生活の支援を行うとともに、小学校への派遣を行う。スクールソーシャルワーカーと連携した家庭訪問事業についても、積極的に展開する。

⑤ スクールソーシャルワーカー

長期欠席児童生徒対策の一環として、家庭環境や対人関係等で複層的な悩みを抱えるケースに対し、粘り強くきめ細かな支援を継続するために、ソーシャルワークの手法を取り入れ、家庭訪問によるアプローチや学校への対応助言を行う。また、スーパーバイザー的な役割に立ち、支援者の連携によるチーム支援を推進する。

⑥ スクールカウンセラー（専門カウンセラー）

臨床心理に関して、高度で専門的な知識と経験を有するスクールカウンセラーを学校に派遣し、児童生徒や保護者へのカウンセリングや教職員への相談と助言を行い、いじめや長期欠席等の問題の解決と予防にあたる。

なお、県費スクールカウンセラー事業の仕組みを生かし、特別支援教育の観点から、市内小・中学校で活動している臨床心理士等に対し、市費で専門カウンセラーを委嘱。域内ネットワークの一層の強化を図り、より多くの視点や関わりを得て合理的配慮の提

供につなげ、インクルーシブ教育システム構築に資する。

⑦ 就学支援・特別支援教育・幼保小連携

(1) 就学支援

巡回訪問相談、就学教育相談、就学支援委員会・同小委員会、発達検査の実施

(2) 特別支援教育

小中学校への特別支援教育支援員の配置（R7 37名）、LD・ADHD等児童の
ニーズ把握調査、多層指導モデル「MIM」教材の活用推進、副学籍制度の推進

(3) 幼保小連携

幼保小園長校長懇談会の開催、子ども発達支援センターとの連携、岡谷市特別
教育支援コーディネーター等連絡会の開催、障がい児保育検討委員会への参加と
助言、関係機関との連携

令和2年度から園・校関係者による検討を重ね、令和3年度、幼保小接続期連携
のためのアプローチ&スタートカリキュラム「おかや絹結プログラム」を策定した。

同プログラムは園校接続期の大切な視点を「11の育ちの芽」、「4つの育ちの根」
及び20の活動例でまとめている。

(8) 岡谷スタンダードカリキュラム

岡谷スタンダードカリキュラムは、地域の「ひと、もの、こと、こころ」の資源を活
用した学びを推進するため、各校の教科活動において日常的、普遍的に活用することの
できる学習コンテンツとして、平成28年度に本市独自に構築した。

諏訪湖をはじめとする豊かな自然、製糸の歴史とものづくりのまち、武井武雄や小口
太郎などの偉人、御柱等々、ふるさと岡谷には豊富な学習素材があり、総合的な学習の
時間や理科・科学や社会・歴史などの教科・領域において学習要素に取り入れることで、
子どもたちが郷土に誇りを持ち、ふるさと回帰の心を育むことをねらいとしている。

現在、320（小学校250、中学校70）の学習コンテンツが用意され、各校で実
践している。

【実践例】

- ・ 岡谷盛り上げ隊（6年生：総合的な学習の時間）

市内の観光名所を取材し、岡谷の良さをパンフレットにまとめる。

- ・ 世界に歩みだした日本～製糸王国岡谷と片倉兼太郎～（6年生：社会科）

製糸王として名を馳せた兼太郎の歩みを通して、岡谷の製糸業、日本の近代化を学ぶ。

- ・ 動いちゃだめよお蚕様（2年生：算数）

学校で育てている蚕の成長する様子を観察しながら、物の長さの測り方を学ぶ。

（９）学童クラブ運営事業（厚生労働省／放課後児童健全育成事業）

保護者が就労等により昼間家庭にいない児童等を対象に、適切な遊びと生活の場を与え、その健全な育成を図ることを目的として、市内７小学校で 12 学童クラブを設置・運営する。

本市では、平成 18 年 4 月に岡谷市学童クラブ条例を施行し、学校休業日の利用料に加えて学校登校日の利用料を有料化した。また、平成 27 年度より対象学年を小学 6 年生まで拡大するとともに、開設時間を延長した。

1 入所できる児童等

- (1) 市内小学校の 1 年生から 6 年生までの児童
- (2) 長野県諏訪養護学校の小学部の児童及び中学部の生徒
- (3) 市長が特に入所の必要を認めた児童等

2 利用できる保護者の要件

保護者（父母等）及び児童等と同居している 65 歳未満の親族（祖父母等）が、下記のいずれかに該当する場合（父母が下記に該当しても、65 歳未満の同居親族が該当しない場合は利用できない）。

- (1) 昼間、会社・在宅等で働いており、家庭で児童等を養育できない場合
- (2) 昼間、自営業に専従しており、家庭で児童等を養育できない場合
- (3) その他（特例として認める場合がある）
 - ① 病気・身体障がい等により、昼間、家庭で児童等を養育できない場合
 - ② 家族の介護・看護により、昼間、家庭で児童等を養育できない場合
 - ③ 妊娠による体調不良、産前・産後の入院等により、昼間、家庭で児童等を養育できない場合
 - ④ 未就園児の子育てにより、昼間、家庭で児童等を養育できない場合
 - ⑤ 就学（職業訓練校等）の時間帯と重なり、昼間、家庭で児童等を養育できない場合
 - ⑥ ひとり親家庭で、児童等の帰宅時間に保護者が求職活動をしている場合（入所後 3 ヶ月以内に就職先が決まらない場合は退所）

3 開設日・開設時間

区分	開設日	休み	開設時間
学校 登校日	月曜日～金曜日	・ 入学式、卒業式の日 ・ 臨時休校日	下校時～ 午後 6 時 45 分
学校 休業日	・ 土曜日 ・ 長期休業日（夏休み、年末年始休み、春休み） ・ 学校の振替休業日、計画休業日	・ 日曜日 ・ 国民の祝日 ・ お盆（8/13～16） ・ 年末年始（12/29～1/3）	午前 7 時 45 分～ 午後 6 時 45 分

4 使用料

階層	区 分	学校登校日 (月額)	学校休業日 (日額)
第 1	生活保護世帯（単給世帯を含む）	0 円	0 円
第 2	前年度分の市町村民税非課税世帯	900 円	600 円
第 3	前年度分の市町村民税非課税世帯かつ母子世帯等である世帯	0 円	0 円
第 4	前年度分の市町村民税所得割非課税世帯	2,300 円	600 円
第 5	前年度分の市町村民税所得割非課税世帯かつ母子世帯等である世帯	2,000 円	600 円
第 6	前年度分の市町村民税所得割課税世帯	3,500 円	600 円

※同じ月に同一世帯で複数児童が同時利用した場合の使用料…2人目は1/2、3人目以降は1/4に減免

5 施設概要、登録児童数

（令和7年4月1日現在）

(1) 学校登校日、学校休業日

単位：人

名称	開設 年月日	施設 面積 (㎡)	職員数		登録児童数		備考
			指導員	補助 指導員	学 校 登校日	学 校 休業日	
川岸小学校学童クラブ	S43.10.1	90.18	1	3	57	80	余裕教室
神明小学校第1学童クラブ	S41.12.26	91.09	1	2	47	52	S45 独立施設
神明小学校第2学童クラブ	H27.4.1	63.42	1	2	40	48	余裕教室
小井川小学校第1学童クラブ	S51.9.1	99.37	1	1	27	33	S51 独立施設
小井川小学校第2学童クラブ	H27.4.1	93.50	1	1	39	44	余裕教室
岡谷田中小学校第1学童クラブ	S40.10.24	52.50	1	2	49	63	H28 独立施設
岡谷田中小学校第2学童クラブ	H28.4.1	52.50	1	2	44	57	
湊小学校学童クラブ	H9.7.28	80.65	1	1	23	28	H12 独立施設
長地小学校第1学童クラブ	S44.10.1	86.67	1	3	64	89	H23 独立施設
長地小学校第2学童クラブ	H23.8.19	86.67	1	3	75	102	
上の原小学校学童クラブ	S52.9.6	85.00	1	2	32	47	余裕教室
障がい児学童ひかりクラブ	H14.4.5	56.25	1	2	3	4	H28 独立施設
合 計			12	24	500	647	

※施設面積は学童クラブ室の面積とする。

(2) 土曜日（岡谷田中小学校第1学童クラブで拠点実施）

単位：人

名 称	開 設 年 月 日	施 設 面 積 (㎡)	職 員 数		登 録 児 童 数	備 考
			指 導 員	補 助 指 導 員		
土曜学童クラブ	H14. 4. 6	52. 50	1	1	60	
障がい児学童ひかりクラブ	H19. 4. 7				1	
合 計			1	1	61	

(10) 放課後子どもの居場所づくり事業（文部科学省／放課後子ども教室推進事業）

市内全7小学校で、全ての児童を対象に、放課後に学校施設を活用して子どもたちの安全・安心な居場所を設け、地域住民の知識や教養を伝える交流活動等を実施することにより、地域社会の中で子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するとともに、参画する地域の方々の生き甲斐づくりを推進する。

事業の実施にあたり、各小学校区に地域住民を中心とする運営委員会を設置し、小学校区ごとに、地域の特色を生かした独自の事業内容を企画・運営する。

なお、文部科学省・厚生労働省が推進する「放課後子ども総合プラン」に基づき、子どもたちが多様な体験・活動の機会を得られるよう、学童クラブとの連携による総合的な放課後対策を推進する。

1 開催予定

（令和7年5月1日現在）

小学校区	名称	開設年月日	年間開催予定
川岸小学校	とちっ子ひろば	平成21年12月（モデル校）	16回
神明小学校	神明っ子 はばたき ラボ	平成23年9月	15回
小井川小学校	おいかわっこ	平成23年7月	10回
岡谷田中小学校	あやめ基地	平成22年5月（モデル校）	13回
湊小学校	あそぼう日	平成21年7月（モデル校）	16回
長地小学校	おさっちあ	平成23年6月	11回
上の原小学校	うえのはらっぱ	平成23年6月	17回

(11) 岡谷子ども未来塾事業（文部科学省／地域未来塾）

市内全4中学校で、苦手教科の解消や勉強の習慣づけをしたい中学2年生を対象に、教員OBや地域住民などが講師となり、パソコン教室の学習支援ソフトを活用して英語・数学の学習サポートを行う。また、小学5年生を対象に加え、市内全7小学校の夏休みに算数の講座を実施し、学習支援を行う。

1 開催予定

（令和7年5月1日現在）

中学校名	年間開催予定
岡谷西部中学校	英語7回、数学7回
岡谷北部中学校	英語7回、数学7回
岡谷南部中学校	英語7回、数学7回
岡谷東部中学校	英語7回、数学7回

岡谷子ども未来塾（5年算数）	年間開催予定
全7小学校	各校で夏休みに2回

(12) 高等学校・専修学校・専門学校等

① 高等学校

1 所在地

学 校 名	所 在 地 (電話番号)	創立年月日	学校長氏名
岡 谷 南 高 等 学 校	岡谷市湖畔三丁目3番30号 (0266-23-2355)	昭 15. 10. 30	藤澤 雅道
岡 谷 東 高 等 学 校	岡谷市南宮二丁目1番17号 (0266-23-3161)	大 2. 4. 1	倉坪 崇之
岡 谷 工 業 高 等 学 校	岡谷市神明町二丁目10番3号 (0266-22-2847)	明 45. 4. 11	橋詰 正克

2 高等学校生徒数及び学級数 (令和7年5月1日現在)

		岡 谷 南 高 等 学 校	岡 谷 東 高 等 学 校	岡 谷 工 業 高 等 学 校	計
1 年	学級数	4	3	5	12
	男	75	44	132	251
	女	87	76	11	174
	計	162	120	143	425
2 年	学級数	5	3	5	13
	男	105	42	136	283
	女	87	78	11	176
	計	192	120	147	459
3 年	学級数	5	3	5	13
	男	111	50	128	289
	女	81	64	3	148
	計	192	114	131	437
合計	学級数	14	9	15	38
	男	291	136	396	823
	女	255	218	25	498
	計	546	354	421	1321

② 専修学校・専門学校

学 校 名	所 在 地	校 長 名	科 目	生徒数	教職員数
上條経理専修学校	岡谷市東銀座一丁目6番4号	上條 重信	商業実務 一 般	---	---
岡谷音楽専門学校	岡谷市東銀座一丁目11番2号	林 かずえ	器 楽	3	3
岡谷市看護専門学校	岡谷市2413-1	澤野 紳二	看 護	32	12

※上條経理専修学校は令和5年4月1日から休校中。

③ 各種学校

学 校 名	所 在 地	校 長 名	科 目	生徒数	教職員数
上條珠算簿記学園	岡谷市東銀座一丁目6番4号	上條 重信	経 理 事 務	62	3

(13) 教員住宅

(令和7年4月1日現在)

住宅番号	建設年度	戸数	所在地	構造	1戸当面積(㎡)
211～237	平成8	1棟21戸	間下	鉄筋コンクリート三階建	単身用21戸 49.99
111～136	平成9	1棟17戸	間下	鉄筋コンクリート三階建	単身用11戸 49.99 世帯用 6戸 69.12

総計戸数 38戸

※令和元年度において、昭和期に建設された戸建ての教員住宅を解体(28戸)・売却(1戸)により処分し、集合住宅タイプの間下教員住宅のみとなり、管理運営を行っている。

【湊小坂教員住宅】

令和元年度に解体された湊小坂教員住宅の跡地は、湊小学校教育の充実発展にご尽力された故花岡和夫先生のご遺族から寄附いただいた土地です。現地には、その功績を讃え、小坂区及び財団法人湊教育振興会が建立した石碑があり、今も湊地区の人たちに親しまれています。

湊小坂教員住宅の跡地の石碑

『花岡和夫先生は明治二十三年一月三日当地に生まれ、幼少期を湊地区で過ごされました。諏訪中学校卒業後志をたて、千葉医学専門学校に学び医学博士となり、千葉市井上病院長、千葉県医師会長、千葉大学医学部講師など医学、医療の面で多大の貢献をされました。亦、千葉県公安委員長ならびに教育委員長などの公職を歴任され、その功績により勲四等瑞宝章を授与されました。』

先生には遠く千葉にありながら、自分を育ててくれた郷里の湊小学校教育に深い関心を示され、昭和の初めより昭和五十三年にご逝去なされるまで、グランドピアノや図書の寄贈を続けられました。特に昭和四十八年には多額の資金を寄付され、これを基金として財団法人湊教育振興会が設立されました。この基金は湊小学校教育の充実発展に大きな役割を果しております。

このたび先生の生家跡地が、教員住宅用地として岡谷市に寄付されるにあたり、この地に生誕の碑を建て永くその遺徳を顕彰致します。』

～石碑背面碑文から抜粋～



(14) 奨学金制度

① 岡谷市育英基金

◎基金の総額 478,484,969円(令和7年3月31日)

◎貸付対象及び要件

- ア. 岡谷市に生活の本拠を有し、引き続き1年以上居住している者又はしていた者であること。
- イ. 成績が優秀で身体が健康であること。
- ウ. 経済的理由により就学が困難と認められること。
- エ. 独立行政法人日本学生支援機構その他の団体から別に学資等の貸与を受けていないこと。

◎貸付内容(平成23年度以降)

ア. 貸付方法 奨学金年4回(4月・7月・10月・1月)に分けて貸付 入学準備金は初回のみ貸付

イ. 貸付金額

(奨学金)			(入学準備金)		
高等学校、専修学校(高等課程)	国公立	月額 30,000円以内	大学	国公立	200,000円以内
高等専門学校(1～3年生)	私立	月額 35,000円以内		私立	
専修学校(専門課程)	国公立	月額 49,000円以内	大学(医学部)	国公立	600,000円以内
	私立	月額 52,000円以内		私立	1,200,000円以内
高等専門学校(4・5年生) 短期大学	国公立	月額 52,000円以内	大学		
	私立	月額 60,000円以内			
大学	国公立	月額 52,000円以内			
	私立	月額 64,000円以内			
大学(医学部)	国公立	月額 100,000円以内			
	私立	月額 200,000円以内			

ウ. 利子 無利子による貸与となります。

エ. 償還免除(令和4年度以降)

<高等学校、高等専門学校、専門学校、短大、大学等>

- ・学校を卒業後、岡谷市に居住し、償還期間中に引き続き居住したときは償還の25%を免除する。

<医師を養成する課程(医学部)>

- ・学校を卒業後10年以内に市内の医療機関で医師として従事し、奨学金の貸与期間(※)と同一期間従事した場合は、貸付額の全額の返済を免除する。なお、学校卒業後に市内の医療機関で臨床研修を受けた場合は、臨床研修の期間を「市内の医療機関において従事する期間」に含める。
 - ・市内医療機関で医師として従事した期間が貸与期間に満たない場合は、奨学金の貸与期間と市内の医療機関に従事した期間(月数)で按分した額について、貸付額の一部を免除する。
- ※貸与期間…入学準備金の貸与を受けた場合、奨学金の貸与期間に6か月を加えた期間とする。

◎返済方法

卒業後6か月後から次の期間内に返済

(奨学金)	高等学校生	120ヶ月	高等専門学校生	180ヶ月
	大学校生	180ヶ月	短期大学校生	96ヶ月
	専修学校生(高等課程)	120ヶ月	専修学校生(専門課程)	168ヶ月
	大学(医学部)	270ヶ月		
(入学準備金)	大学	48ヶ月	大学(医学部)	72ヶ月

◎制度の変遷

・昭和41年度から昭和46年度までの奨学生	年 18,000円(月 1,500円)/人
・昭和47年度から昭和49年度までの奨学生	年 36,000円(月 3,000円)/人
・昭和50年度から昭和57年度までの奨学生(大学生は除く)	年 60,000円(月 5,000円)/人
・昭和51年度から昭和57年度までの大学へ入学する奨学生	年 120,000円(月 10,000円)/人
・昭和58年度からの奨学生(高校生)	年 72,000円(月 6,000円)/人
・昭和58年度からの奨学生(大学生)	年 180,000円(月 15,000円)/人
・平成 2年度からの奨学生(高校生)	年 120,000円(月 10,000円)/人
・平成 2年度からの奨学生(大学生)	年 240,000円(月 20,000円)/人
・平成11年度からの奨学生(高校生)	年 180,000円(月 15,000円)/人
・平成11年度からの奨学生(大学生)	年 300,000円(月 25,000円)/人
・平成13年度に大学等卒業後、償還期間中に市内に在住していた場合に償還額の25%を償還免除とする制度を創設。	
・平成14年度からの奨学生(高校生等)	年 360,000円(月 30,000円以内)/人
・平成14年度からの奨学生(大学生等)	年 624,000円(月 52,000円以内)/人
・平成23年度に医師を養成する課程を卒業後、市内医療機関に市長が別に定める期間医師として従事した場合に償還免除とする制度を創設。	
・令和4年度に医師を養成する課程を卒業後、10年以内に市内医療機関に従事する意思のあるものに対して、市長が別に定める期間償還猶予するとともに、市内医療機関に従事した場合にその期間に応じて償還免除とする制度に見直した。	
・令和6年度より貸付金額に国公立、私立の区分を設け、貸付金額の見直しを行った。	

◎貸付状況

(令和7年5月1日現在)

年度	貸付人員			貸付 (見込)額	免除		償還済 人員	償還中 人員	猶予中 人員	貸付中 人員	備考(7年度 から償還開始)
	高校	大学等	合計		免除額	件数					
41～50	109		109	9,696,000			109				
51	8	7	15	4,080,000			15				
52	3	14	17	6,180,000			17				
53	10	8	18	5,520,000			18				
54	8	8	16	5,160,000			16				
55	1	6	7	3,420,000			7				
56	4	5	9	3,372,000			9				
57	14	5	19	5,256,000			19				
58	5	7	12	5,668,000			12				
59	4	9	13	6,444,000			13				
60	4	12	16	7,884,000			16				
61	8	11	19	8,064,000			19				
62	3	4	7	2,808,000			7				
63	1	7	8	5,076,000			8				
元	1	4	5	1,512,000			5				
2	3	11	14	8,520,000			14				
3	2	15	17	10,800,000			17				
4	3	21	24	18,720,000			23	1			
5	1	22	23	16,680,000			23				
6		9	9	6,240,000			9				
7	1	7	8	5,880,000			8				
8		13	13	9,360,000			13				
9		11	11	7,920,000			11				
10	1	3	4	6,360,000			4				
11	1	8	9	6,540,000			9				
12		10	10	7,560,000			10				
13		11	11	8,820,000			11				
14	2	48	50	34,859,000			49	1			
15	5	27	32	45,372,000	156,000	1	31	1			
16		26	26	48,072,000	915,000	4	24	2			
17	1	22	23	51,312,000	429,000	1	21	2			
18	2	12	14	45,036,000	1,619,100	7	11	3			
19		15	15	37,470,000	1,715,000	4	12	3			
20		15	15	33,132,000	1,478,250	7	11	4			
21		21	21	32,412,000	4,634,000	11	16	5			
22	1	26	27	40,935,000	4,630,500	7	19	8			
23		16 (1)	16	44,176,000	4,512,000	8	6	9	1 (1)		
24	1	15 (1)	16	45,888,000	4,146,250	11	8 (1)	8			
25		16	16	43,780,000	1,834,875	6	12	4			
26		20 (2)	20	44,698,000	3,911,200	9	8	10	2 (2)		
27	1	18 (2)	19	44,960,000	5,784,500	16	8	11			
28		14 (1)	14	45,204,000	3,086,730	9	7	6	1 (1)		
29		13 (1)	13	44,440,000	1,524,000	1	4	8	1 (1)		
30		10	10	36,752,000	9,072,500	20	4	6			
元		8 (1)	8	33,906,000	4,471,875	10	1	6	1 (1)		
2		9 (1)	9	31,896,000	5,308,250	13		6	2	1 (1)	
3	1	8	9	26,868,000	1,530,900	5	1	3		1	4
4	1	13 (2)	14	30,128,000	1,956,500	4		2		9 (2)	3
5		7	7	29,682,000	4,314,200	9				6	1
6		7	7	25,584,000	5,431,950	12				7	
7	3	12	15	30,948,000						15	
計	213	646 (12)	859	1,121,050,000	72,462,580	175	695 (1)	109	8 (6)	39 (3)	8

()は大学(医学部)内数

② 公益信託 山田徳郎奨学基金

- 目的 岡谷市に居住し、長野県内の高等学校に在学する生徒に対して、奨学助成を行い、青少年の健全育成と社会有用の人材を育成する。(昭和63年から給付開始)
- 奨学生の資格
 - 岡谷市に居住し、長野県内の高等学校に在学する者
 - 学業、人物ともに優秀な者
 - 経済的理由により就学困難な者
- 給付方法及び金額

給付方法	年4回(6月・9月・12月・3月)に分けて給付
給付金額	月額15,000円
給付状況	令和5年 4人 令和6年 7人 令和7年 12人 合計 23人
受託者	山田徳郎
受託者	みずほ信託銀行株式会社(東京都中央区八重洲1-2-1)

4. 川岸学園整備室

令和5年度に策定した「川岸学園構想」を推進するため、令和6年4月から教育委員会に設置した組織である。

(1) 事業目的

少子化が進む社会に適応した「魅力と活力ある学校づくり」を推進するため、「川岸学園構想」に基づき、川岸小学校の長寿命化大規模改修にあわせて、切れ目ない一貫した教育を行う「施設一体型義務教育学校」への移行を進めるとともに、岡谷市保育園整備計画中期計画に基づき、校地内に公立幼保連携型認定こども園を併設し、異年齢の子どもたちがつながる「新たな学び舎」の創出を図る。

(2) 事業内容

令和6年2月に策定した「岡谷市川岸学園整備基本計画」に基づき、施設整備に関する実施設計業務を進めるほか、川岸学園の整備に向けた建築工事を進める。また、義務教育学校及び幼保連携型認定こども園の開校・開園に向け、検討や調整を行うため、川岸学園設立準備委員会及び各専門部会を開催する。

○ハード面の整備

- ・川岸小学校の長寿命化大規模改修工事
- ・幼保連携型認定こども園の新築工事
- ・接続棟施設（1階/小中共同給食調理室、2階/多目的ホール）の新築工事

○ソフト面の検討

- ・川岸学園設立準備委員会及び専門部会の開催
（校歌、校章、校歌、制服、教育方針、学校グランドデザイン、カリキュラム等の検討）
- ・義務教育学校への移行準備（開校手続き、条例、規則等の法整備等）

(3) 令和7年度の取組について

- ・川岸学園整備事業 第1期工事（仮設校舎の建設、既存校舎の解体工事）の実施
- ・川岸学園整備事業 第2期工事（川岸小学校の大規模改修工事、接続棟施設の新築工事、校舎の一部解体工事等）の実施
- ・川岸学園設立準備委員会及び専門部会の開催
- ・校名および園名の検討
- ・幼保連携型認定こども園の開園時期の検討
- ・保護者向け説明会の開催
- ・先進地視察の実施